

シームレス個別空調設計ソフト
シード
SeACD 2 (R3・R6)

ユーザーガイド



2025年12月
株式会社イズミコンサルティング

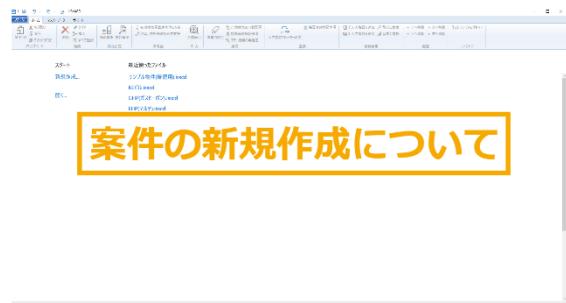
目次

案件の新規作成、建物概要	5
案件の新規作成	5
設計基準の簡易計算・詳細計算について	9
設計用屋内条件の編集	12
諸元入力	14
諸元入力の流れ	14
列情報の絞り込み	18
行の表示順変更	18
基準階の設定方法	20
換気機器設計	25
換気機器設計の画面説明	25
換気機器設計での入力の流れ	26
デフォルト機器番号の変更	28
エアフロー	29
エアフローの画面説明	29
エアフローの基本操作	30
エアフロー図の自動作成	33
換気口の詳細設定	34
エラーリストの確認方法について	35
簡易ダクト抵抗	36
簡易ダクト抵抗の画面説明	36
簡易ダクト抵抗での入力の流れ	37
換気機器選定	39
換気機器選定の画面説明	39
換気機器選定での入力の流れ	39
機器の絞り込み	41
列情報の絞り込み	42
選定機器のコピー	43
エラーリストの確認方法について	44

負荷確認	45
STABRO 負荷計算との連携	45
簡易計算（構造体、ガラス日射直接入力）について	45
空調機器選定	47
空調機器選定の画面説明	47
空調機器選定での入力の流れ	49
補正係数の確認	52
デフォルト機器番号の変更	53
機器能力の変更方法について	54
自動選定の対象を変更	56
品名の検索・置換	57
メーカー・機器種類の一括変更	59
画面の切り離し	62
ゾーンの結合・ゾーン結合の解除	64
空調選定 手入力機器の追加・削除について	65
CAD 出力プレビュー	67
CAD 出力プレビューの画面説明	67
機器表のカスタマイズについて	68
帳票出力	71
エクスポート	74
STABRO 負荷計算ファイルのエクスポート	74
MEL-BIM 入力データのエクスポート	77
インポート	78
STABRO 負荷計算ファイルのインポート	78
MEL-BIM 出力データのインポート	81
旧バージョンファイルのインポート	82
その他	83
機器表での特記事項入力	83
サポート	84

案件の新規作成、建物概要

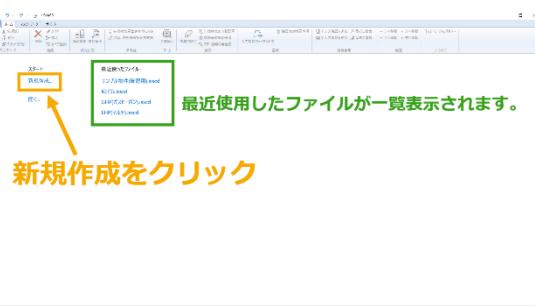
案件の新規作成



案件の新規作成についてご説明いたします。

STEP
1

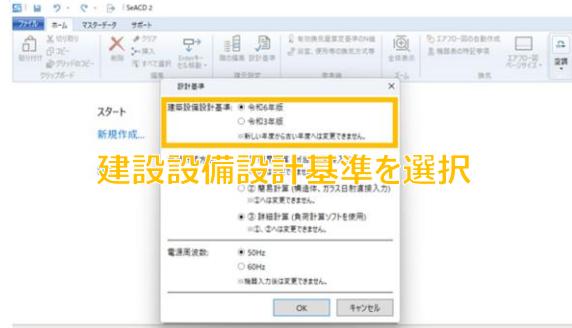
新規作成



新規作成をクリックします。

STEP
2

建築設備設計基準の選択

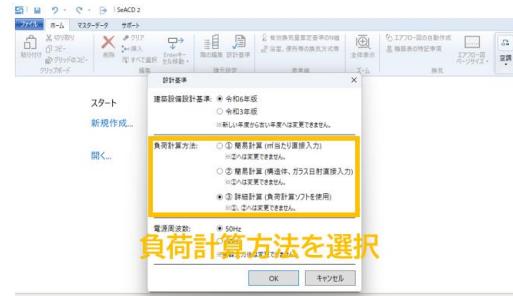


建築設備設計基準を選択します。

※新しい年度から古い年度への変更はできませんので、ご注意ください。

STEP
3

負荷計算方法の選択



負荷計算方法を選択します。

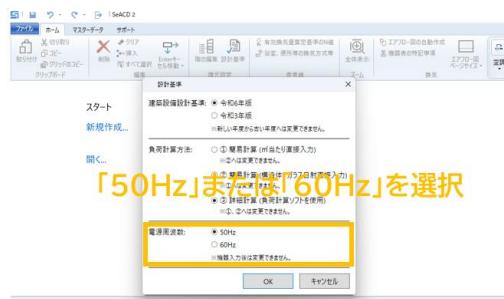
- ①簡易計算 (m²当たり直接入力)
- ②簡易計算 (構造体、ガラス日射直接入力)
- ③詳細計算 (負荷計算ソフトを使用)

※①から③及び、②から③への変更は可能です。

STEP

4

電源周波数の選択



「50Hz」または「60Hz」を選択

電源周波数を選択します。

※機器入力後、「電源周波数」の変更はできませんのでご注意ください。

選択後、「OK」ボタンをクリックします。

STEP

5

件名の入力



*入力例

「○○新築工事」など

案件の件名を入力します。

STEP

6

建物名称の入力



*入力例

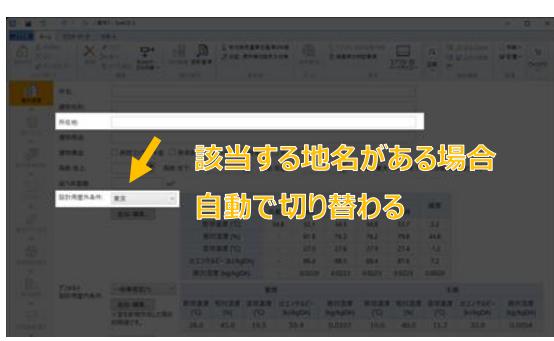
「○○ビル」など

建物名称を入力します。

STEP

7

所在地の入力



該当する地名がある場合

自動で切り替わる

入力した所在地に、設計用屋外条件に該当する地名があれば、「設計用屋外条件」の地名が自動で切り替わります。

例：東京都新宿区～ → 設計用屋外条件「東京」
神奈川県横浜市～ → 設計用屋外条件「横浜」

STEP

8

建物用途の入力

建物用途を入力します。

STEP

9

建物構造の入力

該当する構造にチェックします。複数当てはまる場合は、該当するものすべてにチェックしてください。

STEP

10

階数の入力

階数を入力します。

STEP

11

延べ床面積の入力

延べ床面積を入力します。

STEP

12

設計用屋外条件・デフォルト設計用屋内条件の選択



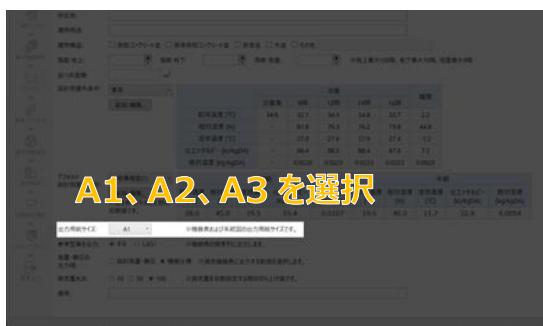
該当する地域、部屋を選択してください。

「追加・編集...」ではユーザー様にて任意の条件編集が可能です。

STEP

13

出力用紙サイズの選択

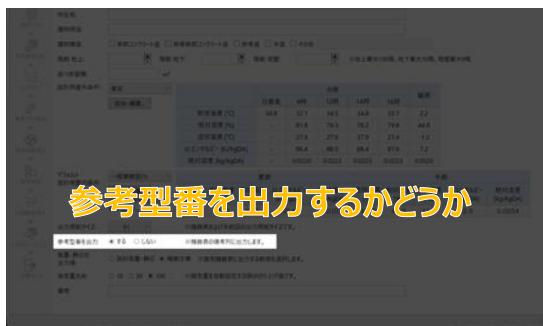


機器表及び系統図の出力用紙サイズを、A1、A2、A3から選択します。

STEP

14

参考型番を出力するかどうかを選択



機器表の備考欄に、選定した機器の参考型番を出力するかどうかを選択します。

STEP

15

風量・静圧の出力を選択



換気機器表、及び空調機器表の風量、機外静圧欄の出力内容を選択します。

設計風量・静圧…設計風量、設計機外静圧を出力します。

機器仕様…選定した機器の風量、機外静圧を出力します。

STEP

16

換気量丸めを入力します



換気量丸めを選択します。

STEP

17

備考を入力します



メモなどを備考に入力します。

設計基準の簡易計算・詳細計算について

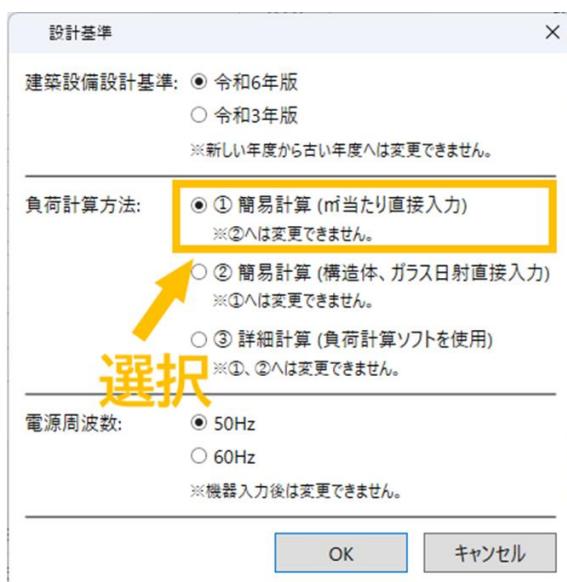


簡易計算・詳細計算の選択後の、作業内容についてご説明いたします。

ここで選択した負荷計算方法によって、この後の「負荷確認」での作業内容が変わります。

STEP
1

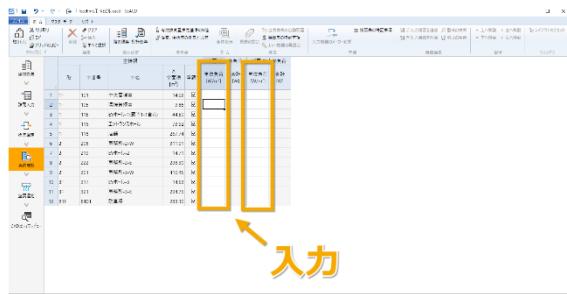
簡易計算 (m²当たり直接入力) を選択した場合



m²あたりで負荷を計算します。

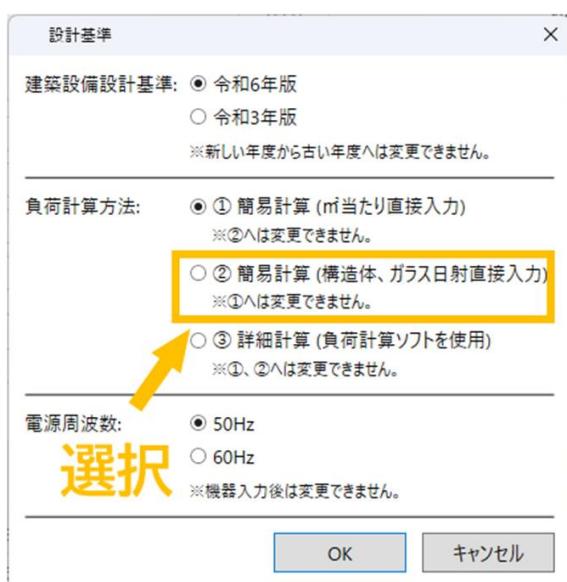
STEP
2

負荷確認 単位負荷を入力



STEP
3

簡易計算 (構造体、ガラス日射直接入力) を選択した場合



STEP
4

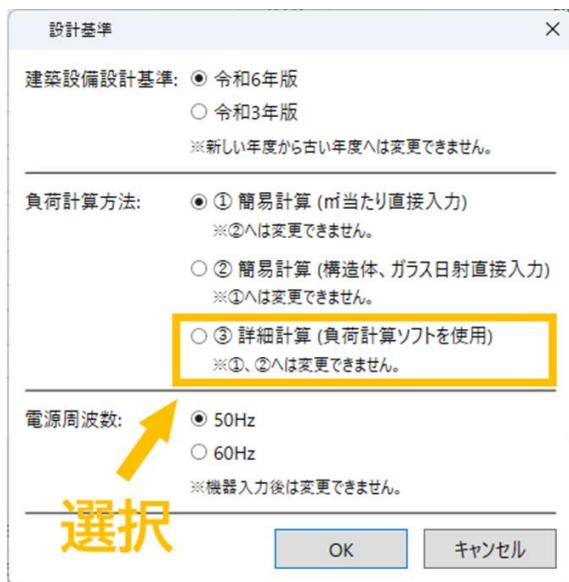
負荷確認 構造体、ガラス日射の負荷を直接入力



構造体、ガラス日射負荷の値を入力すると負荷の合計が算出されます。

STEP
5

詳細計算（負荷計算ソフトを使用）を選択した場合



STABRO 負荷計算を使い詳細に計算を行います。

STEP
6

負荷確認 各条件に基づき算出した計算結果を算出



【STABRO 負荷計算をお持ちの方】

- ①SeACD で入力した諸元情報を「STABRO」へエクスポート。
- ②STABRO で外皮の情報を入力・負荷計算し、その結果を SeACD にインポート。

【STABRO 負荷計算をお持ちでない方】

- ①他ソフト等で算出した結果を直接入力。

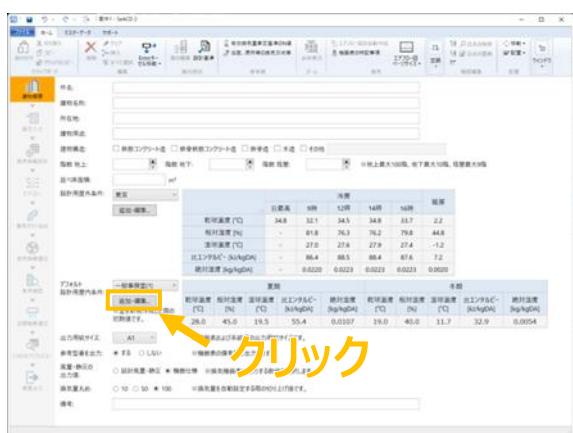
設計用屋内条件の編集



「建物概要」の入力画面の中にある、設計用屋内条件の編集についてご説明します。

STEP
1

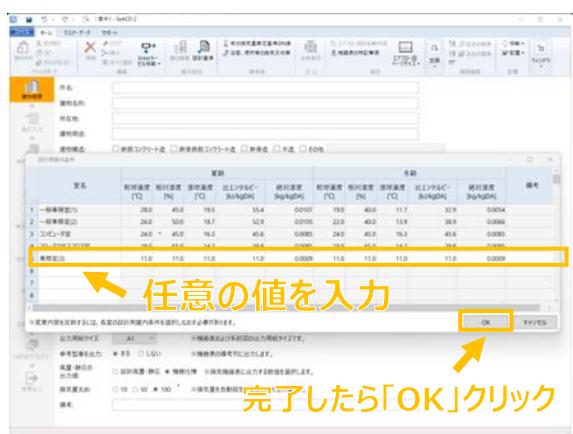
編集をクリック



建物概要画面にある「デフォルト設計用屋内条件」の「追加・編集...」をクリックします。

STEP
2

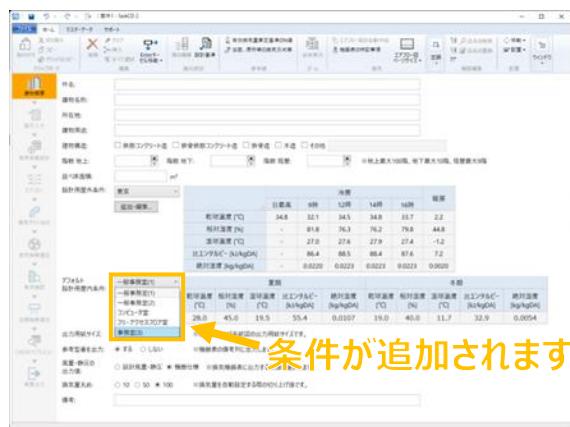
空白部分に入力



室名を入力すると、夏期・冬期の乾球温度や湿球温度などの条件が入力可能になります。

入力が完了したら「OK」ボタンをクリックします。

設計用屋内条件の追加



設計用屋内条件が追加され、選択出来るようになります。

諸元入力

諸元入力の流れ

諸元画面の入力の流れについて

入力内容は以下の通りです。

室情報 ⇒ 換気情報 ⇒ 空調情報 ⇒ 設計用屋内条件 ⇒ 照明負荷 ⇒ 人体負荷 ⇒ その他の内部発熱負荷

STEP
1

室情報の入力

階：プルダウンで選択し入力

室番号：階を選択すると自動で表示

室名：手入力

室面積：手入力

空調室：空調室の場合にチェックする

階高：手入力

天井高：手入力

室容積：室面積と天井高さを入力すると自動で表示

STEP
2

換気情報の入力 換気方式

該当する換気方式にチェックを入れます。

チェックを入れた情報は、この後のエアフロー画面で各室ノードに表示されます。

STEP
3

換気情報の入力 ① 人員密度による計算方法

人員密度：手入力

人数：計算され自動で表示

一人当りの外気量：手入力

換気量：計算され自動で表示

STEP
4

換気情報の入力 ②換気回数による計算方法

階	室番号	室名	A 室面積 [m²]	N 人員 人数 [人/m²]	A+N 一人あたりの 外気量 [m³/h·人]	換気量 [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	
1F	101	事務室	50.00	0.20	10	30	30	625
2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-

換気回数：手入力

換気量：計算され自動で表示

STEP
5

換気情報の入力 特殊換気

階	室番号	室名	A 室面積 [m²]	N 人員 人数 [人/m²]	A+N 一人あたりの 外気量 [m³/h·人]	換気量 [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	
1F	101	事務室	50.00	0.20	10	30	300	625
2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-

換気量：手入力

備考：手入力

特殊換気は自動計算を行いませんので、計算結果を直接入力します。

STEP
6

換気情報の入力 必要換気量

階	室番号	室名	A 室面積 [m²]	N 人員 人数 [人/m²]	A+N 一人あたりの 外気量 [m³/h·人]	換気量 [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	
1F	101	事務室	50.00	0.20	10	30	300	625
2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-

一番大きい値を採用

必要換気量は、人員密度による計算、換気回数による計算、特殊換気量のうち一番大きい値が表示されます。

直接入力をチェックすることで、手入力も可能です。

STEP
7

換気情報の入力 設計換気量

階	室番号	室名	A 室面積 [m²]	N 人員 人数 [人/m²]	A+N 一人あたりの 外気量 [m³/h·人]	換気量 [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	設計換気量 [m³/h]	
1F	101	事務室	50.00	0.20	10	30	300	625	856
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	

建物概要の換気量丸めに従い、必要換気量より算出

建物概要で設定した換気量丸めに従い、必要換気量より計算されます。

例) 必要換気量が 625 の場合、

換気量丸め 10⇒630、50⇒650、100⇒700

直接入力をチェックすることで、手入力も可能です。

STEP
8

換気情報の入力 シックハウス

階	室番号	室名	A 室面積 [m²]	N 人員 人数 [人/m²]	A+N 一人あたりの 外気量 [m³/h·人]	換気量 [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	設計換気量 [m³/h]
1F	101	事務室	50.00	0.20	10	856	856	900
2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-

非居室：手入力

換気回数：0.3、0.5、0.7 より選択。手入力も可能

換気量：計算され自動で表示

判定：設計換気量≥換気量「〇」

STEP

6

空調情報の入力 空調負荷区分

部屋番号	室名	A 空調面 [m²]	空調面	空調情報		空調系統 No.	空調系統名	室外機 機器番号
				空調負荷 区分	空調系統			
1F	101 事務室	50.00	<input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房負荷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

冷暖房負荷：冷暖房負荷を考慮

冷房負荷のみ：冷房負荷のみ考慮

暖房負荷のみ：暖房負荷のみ考慮

STEP

7

空調情報の入力 空調系統

部屋番号	室名	A 空調面 [m²]	空調面	空調情報		空調系統 No.	空調系統名	室外機 機器番号
				空調負荷 区分	空調系統			
1F	101 事務室	50.00	<input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房負荷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

空調系統 No. :

選定された空調系統が選択されます。別の空調系統に変更可能です。

空調系統名 :

選定された空調系統名が表示されます。変更可能です。

室外機機器番号 :

選定された空調系統の室外機機器番号が表示されます。変更可能です。

STEP

8

設計用屋内条件

部屋番号	室名	A 空調面 [m²]	空調面	設計用屋内条件		夏期	冬期
				直接入力	参照室名		
1F	101 事務室	50.00	<input checked="" type="checkbox"/> 直接入力	<input type="checkbox"/> 参照室名			
2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

参照室名は、建物概要で設定した屋内条件が表示されます。

変更が必要な場合は、プルダウンで選択し入力します。

参照室名：選択し入力

その後、負荷を入力します。

負荷の入力は 3 通りの方法があります。

①直接入力：照明負荷を直接入力

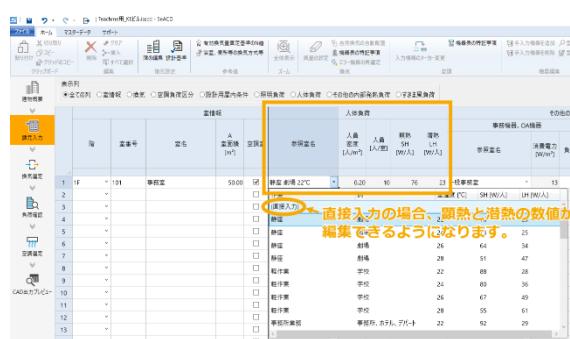
②消費電力より算出入力：1 台当りの消費電力と台数を入力

③参照室より算出：形式を選択し、補正照度と補正を入力

照明負荷

部屋番号	室名	A 空調面 [m²]	空調面	照明負荷		直接入力	消費電力 [W]	台数
				直接入力	消費電力 [W]			
1F	101 事務室	50.00	<input checked="" type="checkbox"/> 直接入力	<input type="checkbox"/> 消費電力入力				
2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

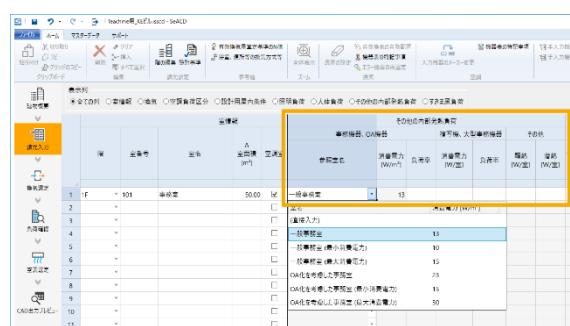
人体負荷



参照室名を選択、または、顕熱と潜熱の数値を直接入力します。

デフォルトで入っているデータは、『試して学ぶ 熱負荷 HASPEE』（空調衛生工学会 編集・発行）の数値です。

他の内部発熱負荷



参照室名から選択、または、顕熱と潜熱の数値を直接入力します。

デフォルトで入っているデータは、『試して学ぶ 熱負荷 HASPEE』（空調衛生工学会 編集・発行）の数値です。

列情報の絞り込み



諸元に表示される情報を、絞り込んで表示する事ができます。

STEP
1

表示項目の選択



室情報は常に表示されます。

それ以外の列項目のみを表示することができます。

STEP
2

絞り込んで表示



たとえば、「換気情報」にチェックを入れると、「室情報」と「換気情報」の情報のみが絞り込んで表示されます。

行の表示順変更



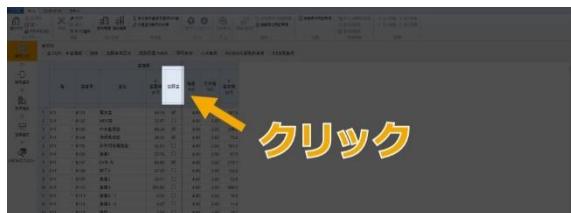
共通する情報を纏めて表示する事が出来ます。

参考に「空調室」で表示順を変更した場合の説明をします。

STEP

1

列タイトルをクリック



空調室の列タイトルをクリックします。

STEP

2

非空調室が纏ります



クリックすると上向きの矢印が表示され、昇順に纏ります。

※昇順・降順中は行挿入、行追加は行えません。
※シート内での右クリックメニューの「ソート状態の解除」
で、いつでも入力順に戻れます。

STEP

3

空調室が纏ります



クリックすると下向きの矢印が表示され、降順に纏ります。

※昇順・降順中は行挿入、行追加は行えません。
※シート内での右クリックメニューの「ソート状態の解除」
で、いつでも入力順に戻れます。

STEP

4

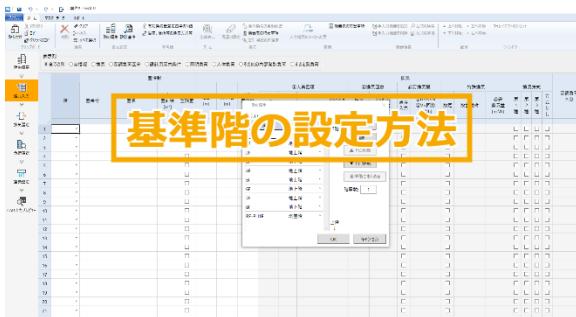
元の入力順に戻ります



矢印の表示が消えて、元の入力順に戻ります。

※列タイトルクリックで、表示が「昇順」⇒「降順」⇒「入力順」と循環します。

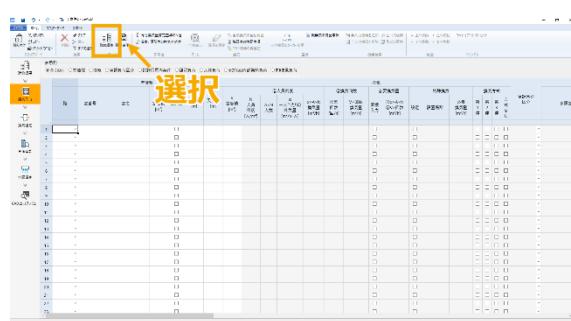
基準階の設定方法



基準階の設定方法についてご説明いたします。

STEP
1

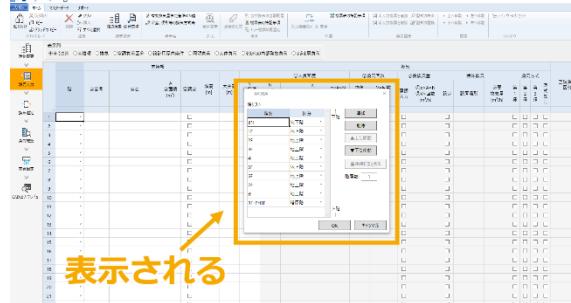
階の編集



左上の「階の編集」を選択します。

STEP
2

階の編集画面

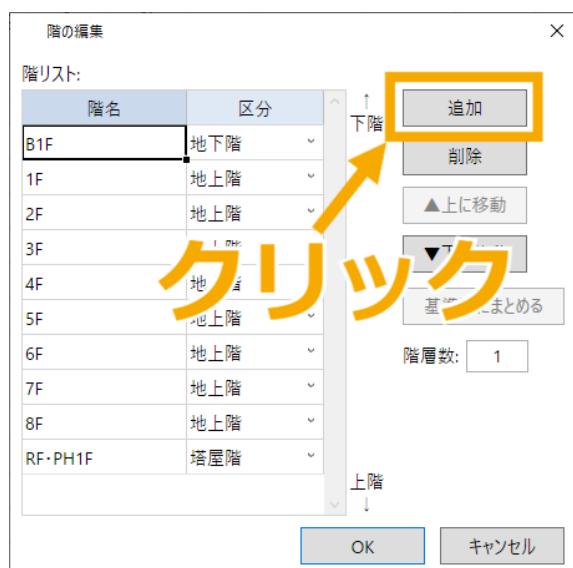


「階の編集」画面が表示されます。

STEP

3

階の追加方法

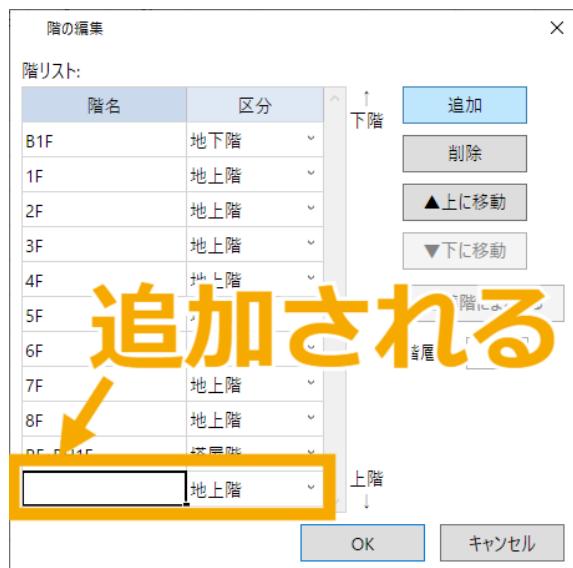


「階の編集」画面にて「追加」ボタンをクリックします。

STEP

4

階の追加完了



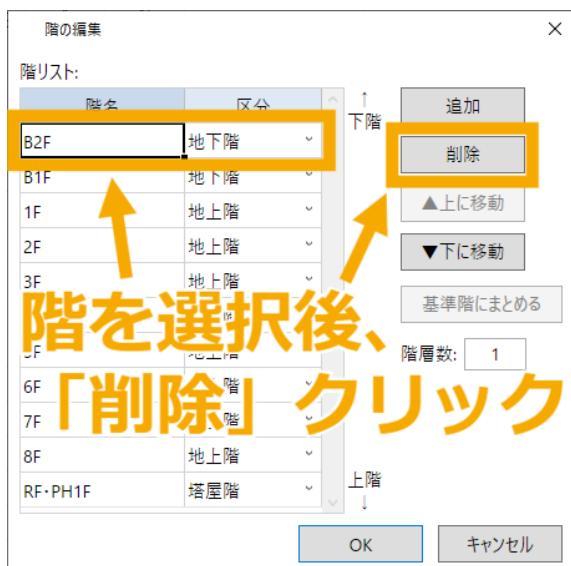
階リストの最下行に新規階の行が追加されます。

任意の「階名」を入力し、「区分」を選択して、「OK」ボタンをクリックすると、完了です。

STEP

5

階の削除方法



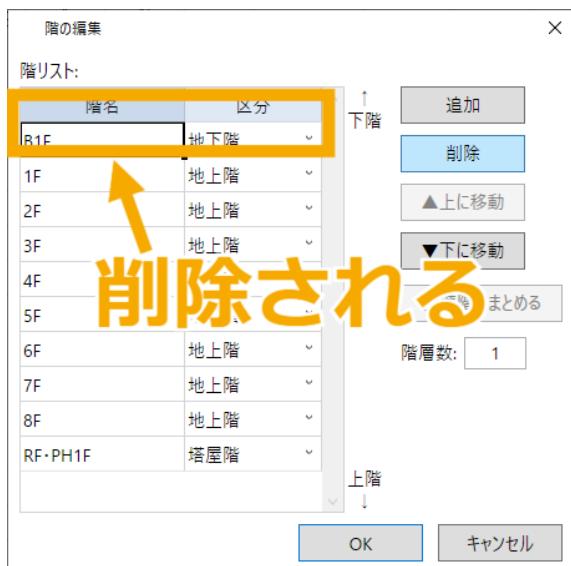
削除したい階を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

※既に「諸元入力」の室で使用している階の場合、削除できません。

STEP

6

階の削除完了



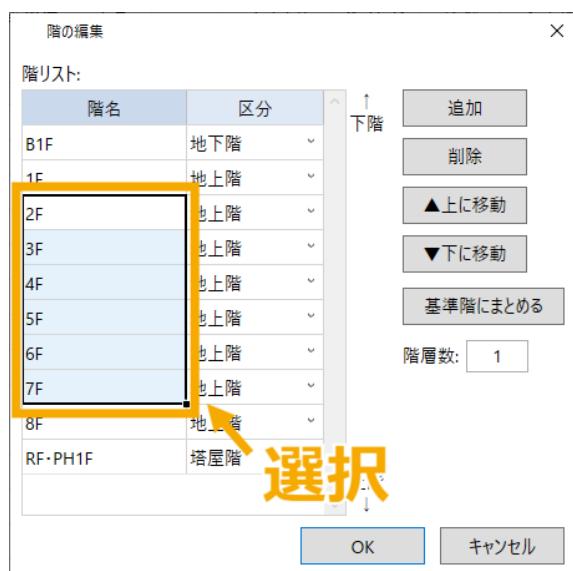
選択していた階が削除されます。

※画面では、B2F 階が削除されました。

STEP

7

基準階の選択

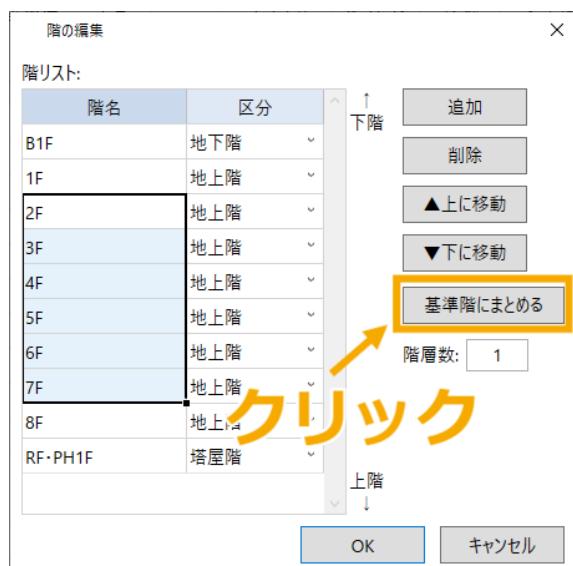


基準階にまとめたい階を範囲選択します。

STEP

8

基準階にまとめる

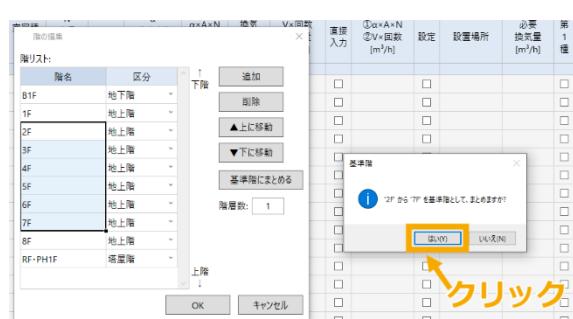


「基準階にまとめる」ボタンをクリックします。

STEP

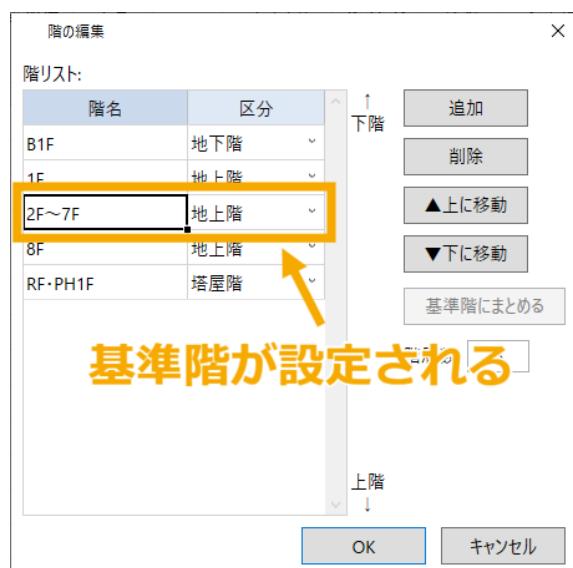
9

確認メッセージの表示



確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

基準階の設定完了



階名が 2F~7F に変更され、基準階が設定されます。

換気機器設計

換気機器設計の画面説明

※Ver.2.0.200 以降の機能です。

換気機器設計画面についてご説明いたします。

STEP
1

換気機器設計エリア

諸元入力で登録した室に対して、設置する換気機器の情報を入力するエリアです。

換気方式が「自然換気」の室は換気機器の設計を行わない為、一覧に表示されません。

※旧バージョンのエアフローで換気機器が設置されている場合のみ表示されます。

STEP
2

合計風量エリア

風量の合計を表示するエリアです。

表示階ごとの風量合計を確認することができます。

建物全体の風量は「すべて」を選択することで確認できます。

換気機器設計での入力の流れ

※Ver.2.0.200 以降の機能です。

This screenshot shows the software interface for exhaust air equipment design. A yellow box highlights the 'Input Flow' section, which contains a table with various parameters and checkboxes for different equipment types like FS, PE, and HEV.

換気機器設計の入力の流れをご説明いたします。

STEP
1

設計機種の選択

This screenshot shows the software interface for exhaust air equipment design. A yellow box highlights the 'Select Equipment Type' section, which lists various equipment types with checkboxes for selection.

室内に設置したい換気機器の機種を選択します。

設計機種を選択すると、対象の室に換気機器が追加されます。

STEP
2

機器情報の入力

This screenshot shows the software interface for exhaust air equipment design. A yellow box highlights the 'Enter Equipment Information' section, which contains a table for inputting equipment information like model number, name, and capacity.

室内に設置したい換気機器の機器番号と台数を入力します。

機器番号：デフォルト機器番号より自動採番

台数：初期値「1」

STEP
3

同一機器を設計する

This screenshot shows the software interface for exhaust air equipment design. A yellow box highlights the 'Design Same Equipment' section, which shows a table of equipment with checkboxes for selecting the same model.

1台の換気機器で複数室を換気したいときは、

同じ機器番号を入力して同一機器にチェックを入れると

1つに纏めることができます。

同一機器のチェックを外すと、同じ機番で別機器の扱いとなります。

STEP
4

風量の入力・確認

This screenshot shows the software interface for exhaust air equipment design. A yellow box highlights the 'Enter Air Volume' section, which contains a table for inputting air volume values for different rooms.

換気機器の設計風量を入力・確認します。

風量は設計換気量より自動計算した値を表示しています。

風量を変更したい場合は、直接入力にチェックをすること
で手動変更が可能です。

換気機器の入力行を追加する

階	室番号	室名	空調区分	換気方式	設計換気量 [m ³ /h]	換気機器			
						設計機種	機器番号	台数	同一機器
1	B1F B101	電気室	空調	第1種	1,000	給気ファン	FS-B1-1	1	<input type="checkbox"/>
2	B1F B102	MDF室	非空調	第1種	200	給気ファン	FS-B1-2	1	<input type="checkbox"/>
3	切り取り	電気室	空調	第1種	700	全熱交換器	HEX-B1-1	1	<input type="checkbox"/>
4	貼り付け	電気室	空調	第1種	200				<input type="checkbox"/>
5	挿入	発電機室	非空調	第1種	900				<input type="checkbox"/>
6	削除	電気室	非空調	第3種	400				<input type="checkbox"/>
7	クリア	電気室	空調	第2種					<input type="checkbox"/>
8			空調	第3種	1,000				<input type="checkbox"/>
9	B1F B109	倉庫2	非空調	第1種	300				<input type="checkbox"/>

上と下のどちらに挿入するか選択

上に挿入

階	室番号	室名	空調区分	換気方式	設計換気量 [m ³ /h]	換気機器			
						設計機種	機器番号	台数	同一機器
1	B1F B101	電気室	空調	第1種	1,000	給気ファン	FS-B1-1	1	<input type="checkbox"/>
2	B1F B102	MDF室	非空調	第1種	200				<input type="checkbox"/>
3						給気ファン	FS-B1-2	1	<input type="checkbox"/>
4	B1F B103	中央監視室	空調	第1種	700	全熱交換器	HEX-B1-1	1	<input type="checkbox"/>

下に挿入

階	室番号	室名	空調区分	換気方式	設計換気量 [m ³ /h]	換気機器			
						設計機種	機器番号	台数	同一機器
1	B1F B101	電気室	空調	第1種	1,000	給気ファン	FS-B1-1	1	<input type="checkbox"/>
2	B1F B102	MDF室	非空調	第1種	200				<input type="checkbox"/>
3						給気ファン	FS-B1-2	1	<input type="checkbox"/>
4	B1F B103	中央監視室	空調	第1種	700	全熱交換器	HEX-B1-1	1	<input type="checkbox"/>

室内換気機器の入力行を追加することが出来ます。

追加したい室の行を選択し、右クリックメニューの「機器行挿入」にて追加します。

上に挿入：選択した行の上に機器行を挿入

下に挿入：選択した行の下に機器行を挿入

デフォルト機器番号の変更



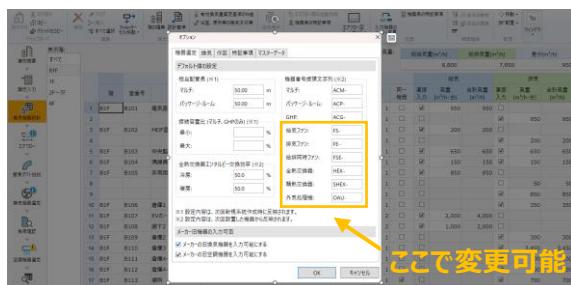
デフォルトで設定されている機番を変更する事が出来ます。

STEP 1 「ファイル」の「オプション」をクリック



左上にある「ファイル」タブをクリックして、「オプション」を選択します。

STEP 2 デフォルトの機器番号の変更



既に設置してある機器の機番は変更されません。

設定内容は次回設置した機器から反映されます。

※例：排気ファンの機番を FE から FED に変更する場合

STEP 3 機番の変更

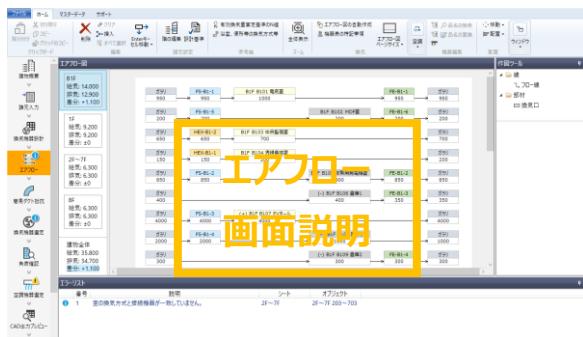


新規で追加した排気ファンの機器番号が「FED」に変更されています。

このほか、空調なども同じ流れで変更が可能です。

エアフロー

エアフローの画面説明



エアフロー画面についてご説明いたします。

STEP
1

シートエリア



シートを作成していくエリアです。

STEP
2

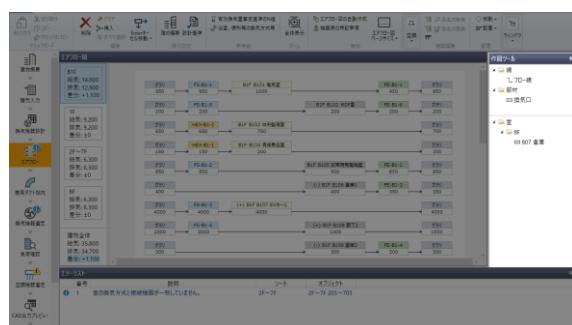
作図エリア



機器をプロットし、エアフロー図を作成していくエリアです。

STEP
3

作図ツールエリア



作図する図形一覧が表示されているエリアです。

フロー線：ノード間を結ぶ線

ノード：換気口、換気機器、室の図形

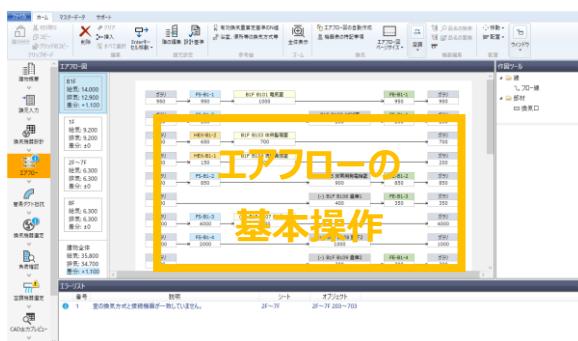
STEP
4

エラーリストエリア



エラーの詳細が表示されるエリアです。

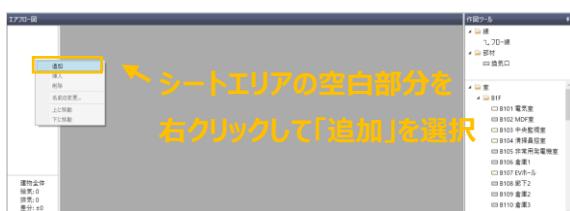
エアフローの基本操作



エアフローの基本操作をご説明いたします。

STEP
1

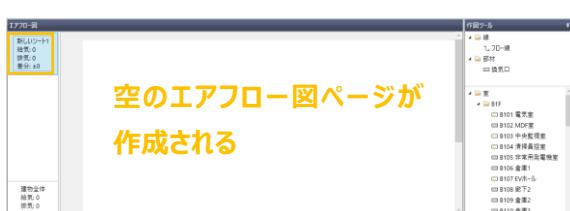
シートの追加



シートエリアの空白部分を右クリックしてコンテキストメニューの「追加」を選択します。

STEP
2

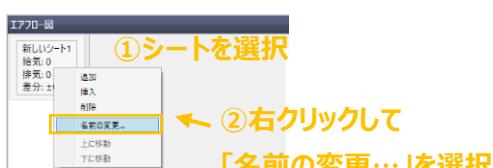
シートが追加されます



シートエリアに新しいシートが追加され、作図エリアに空のエアフロー図ページが作成されます。

STEP
3

シート名の変更



名前を変更したいシートを選択する。

右クリックしてコンテキストメニューの「名前の変更…」を選択します。

STEP
4

シート名の変更



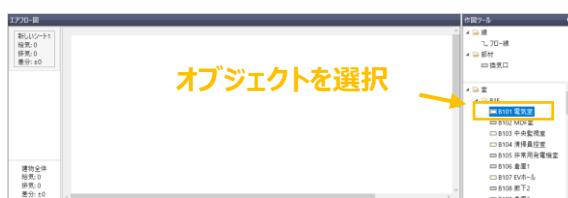
シート名を変更して「OK」ボタンをクリックします。

STEP
5

シート名が変更されます



オブジェクトの追加



作図ツールにてエアフロー図に追加したいオブジェクトを選択します。

選択されたオブジェクトは青反転されます。

※作図ツールの室ノードは、エアフロー図に未配置の室のみが表示されます。

STEP
7

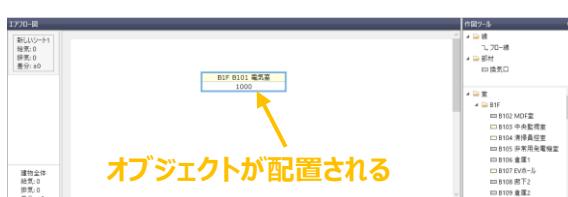
追加位置を決定



作図エリアにてオブジェクトを追加したい位置までマウスカーソルを移動させてクリックします。

STEP
8

オブジェクトが配置されます



クリックした位置にオブジェクトが配置されます。

STEP
9

オブジェクトの複数選択①



「Shift」または「Ctrl」キーを押したまま、オブジェクトをクリックしていくと複数のオブジェクトが選択できます。

「Shift」または「Ctrl」キーを押したまま、
オブジェクトをクリック

STEP
10

オブジェクトの複数選択②



マウスドラッグにてオブジェクトを囲う

マウスドラッグにて選択したいオブジェクトを囲うことで、枠内のオブジェクトを複数選択することができます。

STEP
11

オブジェクトの移動



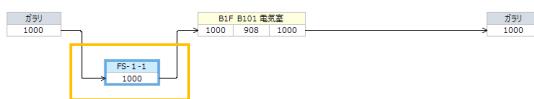
マウスボタンを押したまま
マウスカーソルを移動させる

選択したオブジェクトを移動することができます。

複数のオブジェクトを一度に移動することも可能です。

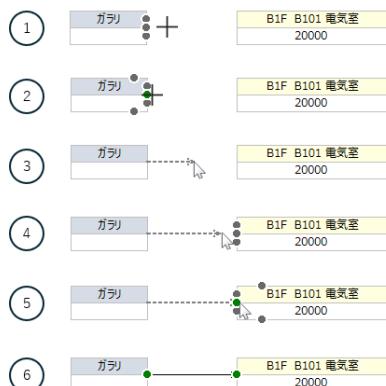
STEP
12

オブジェクトが移動しました



マウスボタンを離して移動完了

フロー線を結ぶ

STEP
13

ノード間をフロー線で結びます。

- ①接続可能なノード接点にマウスカーソルが近づくと接点(●)が表示されます。
- ②接点(●)にマウスカーソルを合わせて左マウスボタンをクリックします。
- ③④⑤左マウスボタンを押したまま、結線したいノードまでフロー線を引っ張ります。
- ⑥結線されました。

●にマウスカーソルを合わせ、マウスボタンを押した
ままフロー線を引っ張ります

パスダクトの入力

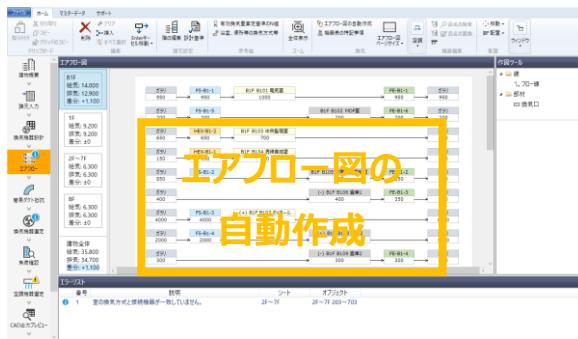
STEP
14

室と室をフロー線で結線する

室と室をフロー線でつなげることでパスダクトを表すことができます。

パスダクトは点線矢印で表現されます。

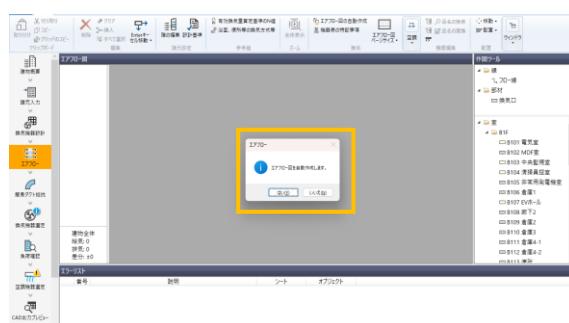
エアフロー図の自動作成



エアフローの自動作成についてご説明いたします。

STEP
1

エアフロー図の自動作成

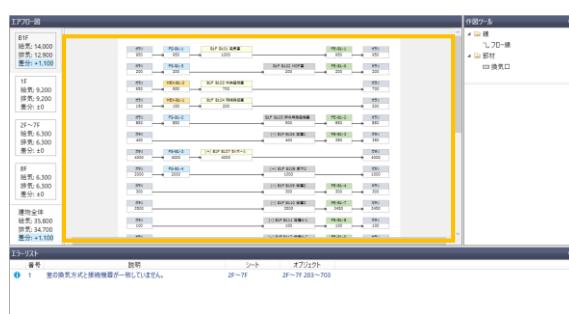


換気機器設計が完了し、シートがない状態でエアフロー画面を表示するとエアフロー図を自動作成する旨の確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると換気機器設計で登録した情報より、エアフロー図が自動作成されます。

STEP
2

自動作成の完了

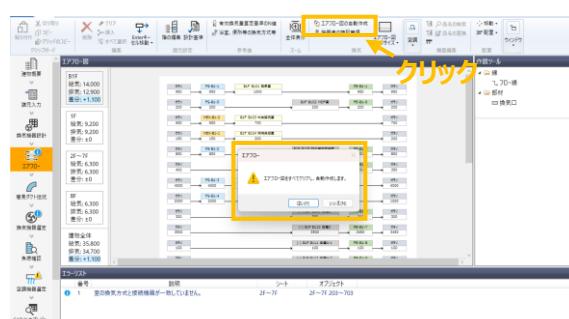


シートは階毎に作成されます。

換気機器設計にて設置されるノードが決定します。

STEP
3

エアフロー図の自動作成



エアフロー図の作成中でも、リボンメニューの「エアフロー図の自動作成」をクリックするとエアフロー図の自動作成が出来ます。

換気口の詳細設定



換気口の詳細設定についてご説明いたします。

STEP
1

換気口の詳細設定画面を開く



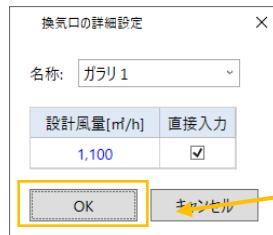
換気口ノードを選択してダブルクリックまたは右クリックして「詳細設定…」を選択します。

または



STEP
2

換気口の詳細設定



必要に応じて修正して

換気口の情報を修正することができます。

名称：換気口ノード上部の名称を変更します

設計風量：設計風量を変更します

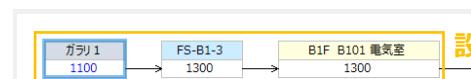
直接入力：

チェックなし…自動で風量伝播されます

チェックあり…入力した設計風量となります

STEP
3

設定完了



設定完了

エラーリストの確認方法について

エラーリスト	番号	説明	シート	オブジェクト
1	未接続のフロー線があります。	1F	フロー線	
2	設計換気量が必要換気量を下回っています。	8F	8F 802 事務室	

エラーリストに表示された場合、
対象オブジェクトに移動し、すぐ確認できます。

STEP
1



STEP
2



簡易ダクト抵抗

簡易ダクト抵抗の画面説明

※Ver.2.0.4.0 以降の機能です。



簡易ダクト抵抗画面についてご説明いたします。

STEP
1

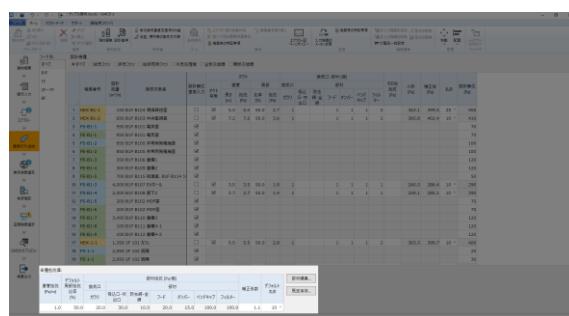
ダクト経路要素数入力エリア



エアフロー図にて配置した換気機器ノードに対して、ダクト経路の要素数を入力するエリアです。

STEP
2

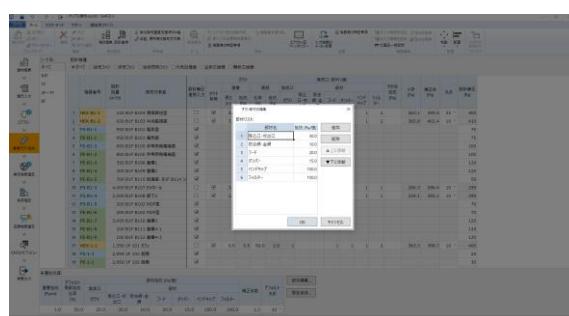
単位当りのダクト抵抗値入力エリア



各要素の単位当りの抵抗値を入力するエリアです。

STEP
3

部材編集画面



要素部材の名称や抵抗値の編集を行う画面です。

簡易ダクト抵抗での入力の流れ

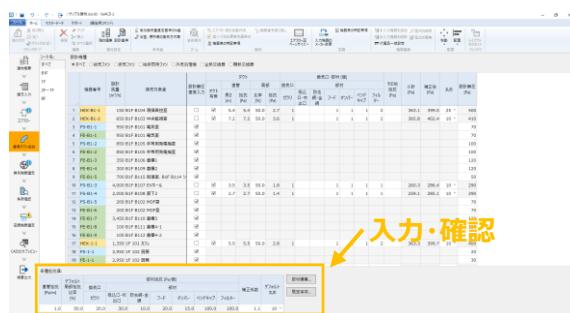
※Ver.2.0.40 以降の機能です。



簡易ダクト抵抗の入力の流れをご説明いたします。

STEP
1

単位当たりの抵抗値を入力・確認



各抵抗要素の単位当たりの抵抗値を入力・確認します。

STEP
2

設計静圧を簡易計算するかどうかの確認

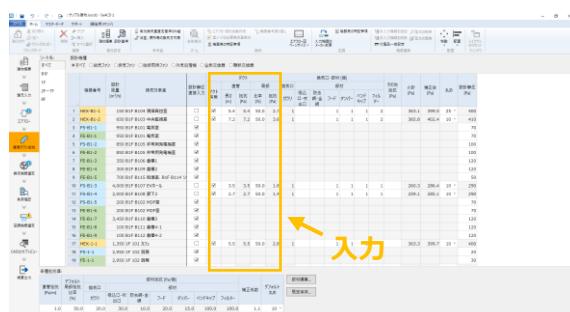


簡易計算するかどうかを確認し必要に応じて設定します。

(設計静圧を直接入力する場合は ON にし静圧値を入力します。直接入力した場合は以降の STEP は不要です。)

STEP
3

直管ダクト長、局部抵抗比率の入力



必要に応じて直管ダクト長や局部抵抗比率を入力します。

STEP
4

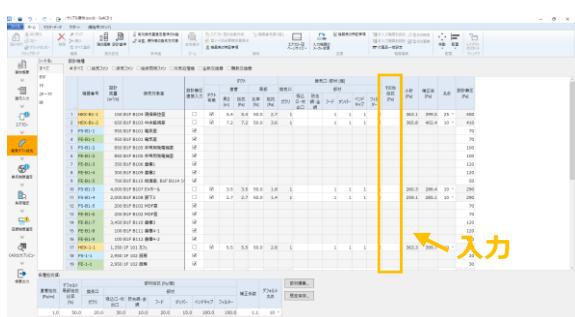
吸入口、吹出口、フード等の数量の入力



吸入口や吹出口、フード等の数量を入力します。

STEP
5

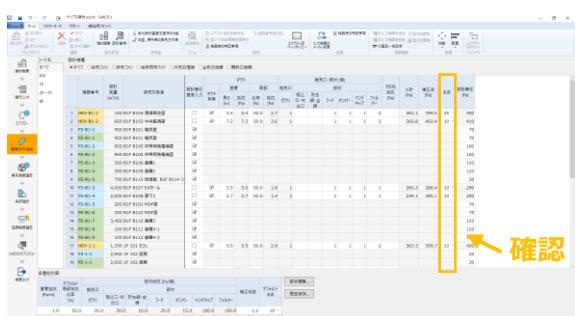
その他抵抗の入力



必要に応じて、その他の抵抗を入力します。

STEP
6

設計静圧の丸めを確認



必要に応じて、設計静圧の丸めを確認します。

STEP
7

設計静圧を確認



算出された設計静圧を確認します。

換気機器選定

換気機器選定の画面説明



換気機器選定画面についてご説明いたします。

STEP
1

機器選定エリア



エアフロー図にて配置した換気機器ノードに対して、機器を選定していくエリアです。

STEP
2

エラーリストエリア



エラーの詳細が表示されるエリアです。

換気機器選定での入力の流れ



換気機器選定の入力の流れをご説明いたします。

STEP
1

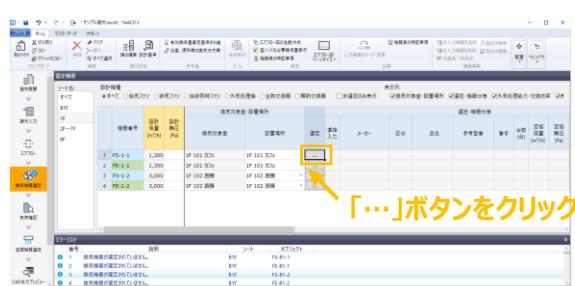
設計風量、設計静圧の確認



エアフローで入力した設計風量、簡易ダクト抵抗で計算または入力した設計静圧を必要に応じて確認します。

STEP
2

機器の選定



選定したい換気機器ノードの「…」ボタンをクリックします。

STEP
3

機器を絞り込む



「メーカー」「機器種類」「カタログ年月」を選択し、機器タイプを選択すると機器仕様の一覧が表示されます。

この画面はストレートシロッコファン（給気タイプ消音形）のラインナップがすべて表示されています。

STEP
4

条件に該当する機器が絞り込めます



「設計風量・静圧で絞込」「設計風量で絞込」「設計静圧で絞込」ボタンをクリックすると、条件に合った機器が絞り込まれます。

風量と静圧はカタログに掲載されている値で絞り込まれます。

そのため、P-Q 線図は考慮されていません。

STEP
5

機器の仕様確認



確認したい機器の、製品情報のリンクをクリックします。

※画面は「WIN2K」リンクをクリックしています

STEP
6

対象の機器の Web ページが開きます

仕様がすぐに確認できます。

P-Q 線図を考慮する場合は、こちらのページですぐ確認ができます。

STEP
7

機器を選択

機器が決またら、選択し「OK」ボタンをクリックします。

STEP
8

機器が選定されます

選定が完了し、機器仕様が自動で入力されます。

機器の絞り込み

機器の絞り込みについてご説明いたします。

STEP
1

シートで絞り込み

シート名を選択すると、エアフロー図で配置した換気機器がシート毎に絞り込まれます。

STEP 2

設計機種で絞り込み

設計機種を選択すると、エアフロー図で設置したファンの種類で絞り込まれます。

STEP 3

未選定のみ表示

「未選定のみ表示」をチェックすると、未選定の機器で絞り込まれます。

列情報の絞り込み

列情報の絞り込みについてご説明いたします。

STEP

表示項目の選択

機器番号、設計風量、設計静圧は常に表示されます。
それ以外の列項目のみを表示することが可能です。

STEP
2

絞り込んで表示

計測情報		測定結果										
被測定項目	測定項目	測定値		測定方法		測定条件		測定結果		測定結果		
		測定値	単位	測定方法	測定条件	測定条件	測定条件	測定結果	測定結果	測定結果	測定結果	
測定対象: 食品衛生												
測定対象: 食品衛生												
測定対象: 食品衛生												
1	PS-1.1	480	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
	PS-1.2	480	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
3	PS-1.3	100	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
	PS-1.4	100	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
5	HEX-1.1	200	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
	HEX-1.2	200	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
7	PS-1.5	200	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
	PS-1.6	200	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
8	PS-1.7	600	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
	PS-1.8	600	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	
9	PS-1.9	100	mg/m ³	IF 10-1	IF 10-2	IF 10-3	IF 10-4	IF 10-5	IF 10-6	IF 10-7	IF 10-8	

チェックされた列情報のみが絞り込んで表示されます。

選定機器のコピー



選定機器のコピーについてご説明いたします。

STEP
1

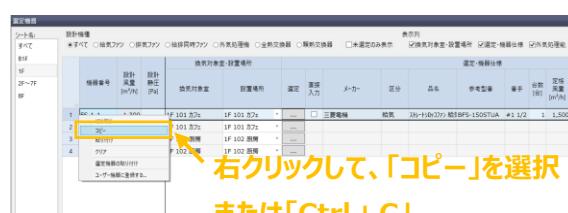
コピーしたい選定機器の選択



コピーしたい選定機器の行に移動または行を選択します。

STEP
2

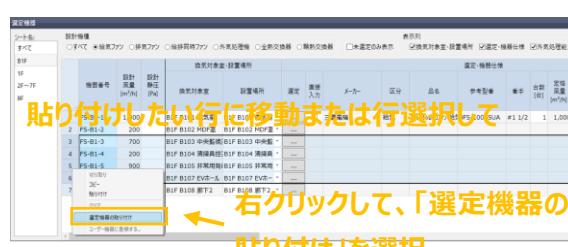
選定機器のコピー



右クリックして、「コピー」を選択または「Ctrl+C」を行うと選定機器がコピーされます。

STEP
3

選定機器の貼り付け



選定機器を貼り付けしたい行に移動または行選択をしてから、右クリックして「選定機器の貼り付け」を選択する。

「選定機器の貼り付け」は設計機種が同じだったら、貼り付けが出来ます。

STEP 4

選定機器が貼り付けされます



エラーリストの確認方法について



エラーリストに表示された場合、

対象行に移動し、すぐ確認できます。

STEP 1

リストに表示されている機器をダブルクリックします



← ダブルクリック

STEP
2

トラー機器の行にカーソルが移動します



接続対象室・設置場所

負荷確認

STABRO 負荷計算との連携

SeACD2 STABRO 負荷計算



建築設備設計基準が令和3年版および令和6年版の場合の STABRO 負荷計算との連携の流れについて説明します。

STEP
1

STABRO 負荷計算ファイルをエクスポート

事前準備：諸元入力、エアフロー、換気機器選定の入力を行ってください。

[ファイル]-[エクスポート]から [STABRO 負荷計算ファイルのエクスポート](#)を行います。

STEP
2

STABRO 負荷計算ファイルをインポート

SeACD に STABRO 負荷計算で算出した負荷計算結果を反映させます。

[ファイル]-[インポート]から [STABRO 負荷計算ファイルのインポート](#)を行います。

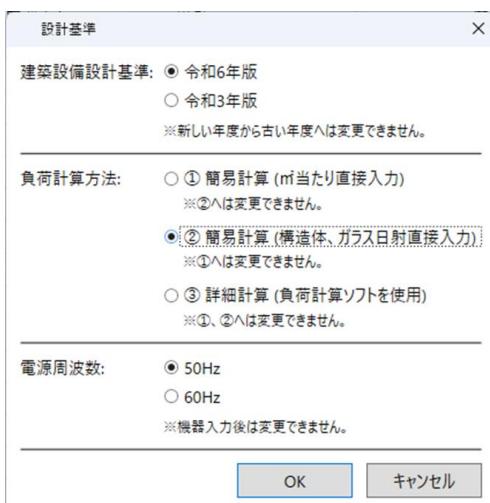
STEP
3

インポート完了



STABRO 負荷計算で算出した負荷計算結果が、SeACD に反映されます。

簡易計算（構造体、ガラス日射直接入力）について

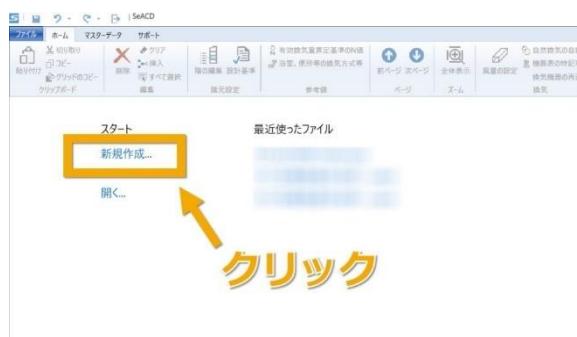


簡易計算の新しい計算方法を追加しました。

構造体、ガラス日射負荷の値を概算で入力し、室内負荷は諸元入力の条件にてソフトで自動計算します。

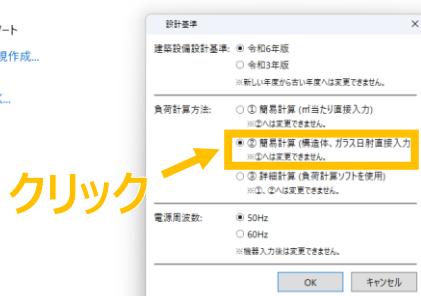
STEP
1

新規作成をクリック



STEP
2

②簡易計算（構造体、ガラス日射直接入力）にチェック



STEP
3

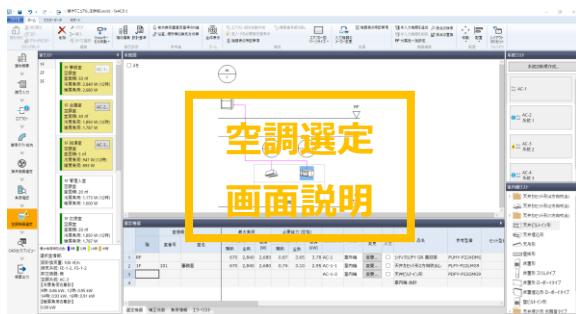
負荷確認画面で構造体、ガラス日射の負荷を直接入力



構造体、ガラス日射負荷の値を入力すると負荷の合計が算出されます。

空調機器選定

空調機器選定の画面説明



空調機器選定の画面についてご説明いたします。

STEP
1

室リストエリア

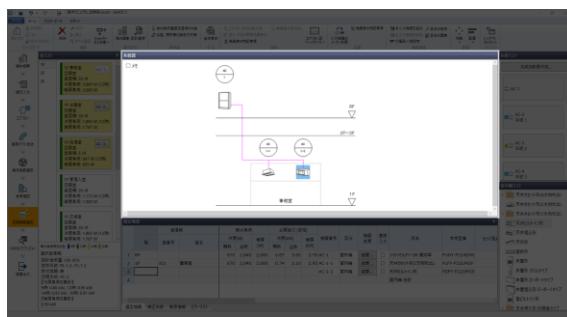


諸元の入力内容と、負荷計算の情報を階毎に表示しているエリアです。

負荷の数値は、時刻別の最大値を表示しています。

STEP
2

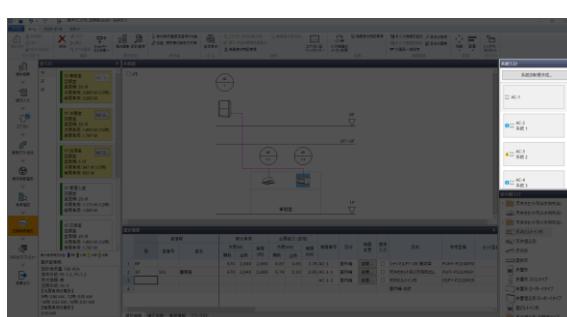
系統図エリア



機器をプロットし、系統図を作成していくエリアです。

STEP
3

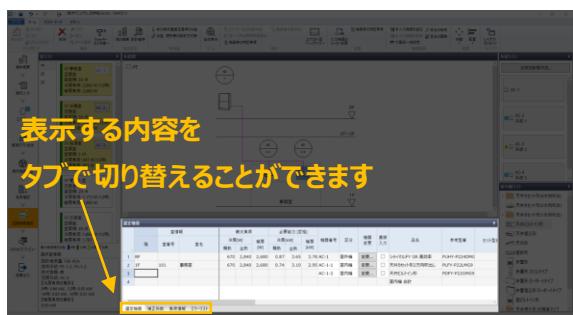
系統リストエリア



登録した系統を一覧で表示するエリアです。

STEP
4

選定機器エリア



選定機器エリアでは、表示をタブにて切替えることができます。

STEP
5

選定機器エリア 選定機器



機器の能力や消費電力などの仕様や、付属品などを表示するエリアです。

ここに表示される内容が、空調機器表に反映されます。

STEP
6

選定機器エリア 補正係数



屋外機・室内機の補正係数を設定するエリアです。

配管長補正是、長さを入力すると自動で係数が計算されます。

STEP
7

選定機器エリア 負荷情報

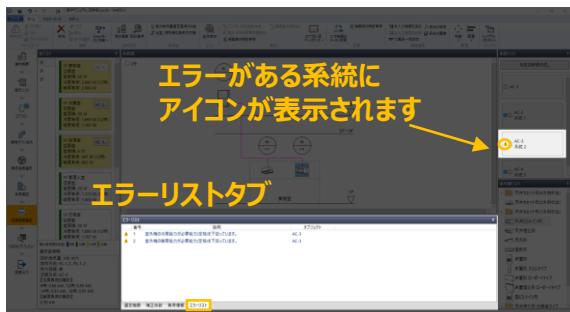


系統で決めた情報を表示しているエリアです。

STEP

8

選定機器エリア エラーリスト



エラーの詳細が表示されるエリアです。
また、エラーがある系統にエラーアイコンが表示されます。

STEP

9

機器リストエリア



設置する室内機を選ぶエリアです。

空調機器選定での入力の流れ



空調機器選定の入力の流れをご説明いたします。

STEP

1

系統の登録

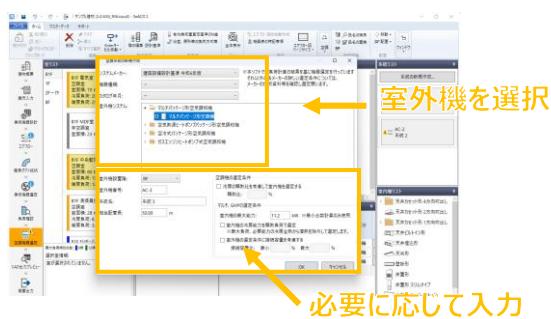


「系統の新規作成...」をクリックします。

STEP

2

室外機のシステム等入力



①「システムメーカー」を選択します。

※ここでは「建築設備設計基準 令和 6 年版」を選択。

②「機器種類」、「カタログ年月」を選択します。

※「建築設備設計基準 令和 6 年版」の場合は「-」固定。

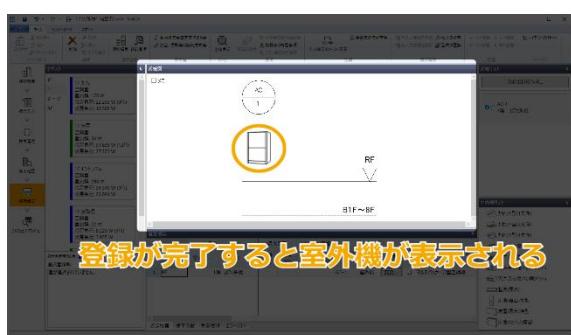
③設置したい室外機システムを選択します。

④必要に応じて「系統名」「相当配管長」「空調機の選定条件」を入力します。

STEP

3

系統の登録

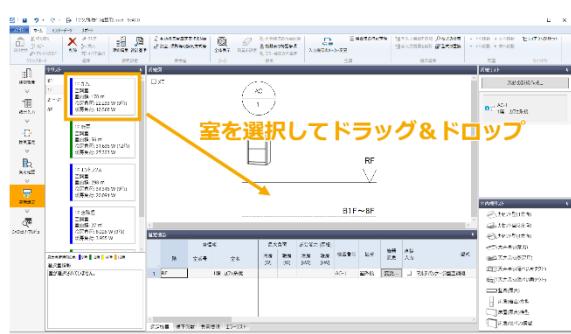


系統の登録が完了すると、系統図に室外機が表示されます。

STEP

4

系統に所属させる室の選択

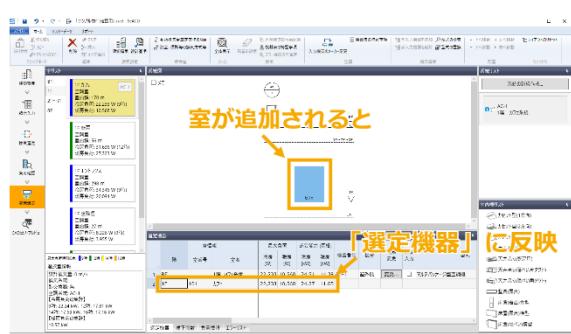


系統に所属させる室を、「室リスト」から選択し系統図画面にドラッグ & ドロップします。

STEP

5

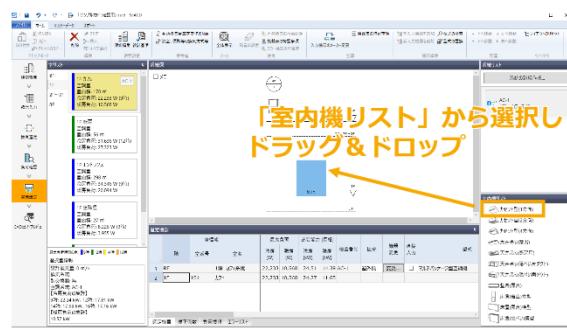
室を所属させた結果



「選定機器」画面に室情報が反映されます。

STEP
6

機器の選択



「室内機リスト」から、設置したい室内機を選択し、対象の室にドラッグ & ドロップします。

STEP
7

機器の登録

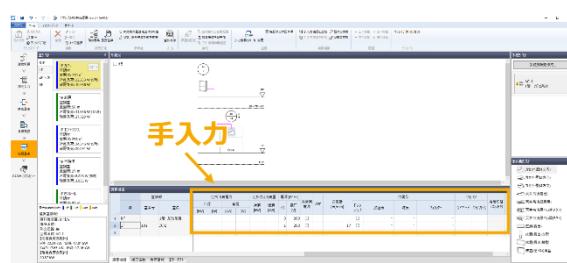


室内機を設置すると、「選定機器」に室内機が自動で選定され、情報が反映されます。

最初は「最小台数」にて室内機が自動選定されます。

STEP
8

項目の入力

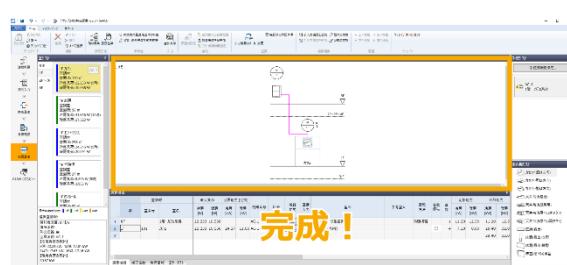


「選定機器」に必要な項目を手入力します。

※メーカーを指定して選定した場合は、参考型番や定格消費電力などが自動で反映されます。

STEP
9

作業の完了



この作業の繰り返しで、空調設計を完了させます。

補正係数の確認



配管長補正、屋外温度補正係数、室内温度補正係数の数値を確認します。

STEP
1

補正係数タブをクリック



STEP
2

補正係数が表示されます



以下項目の数値を使って計算しています。

室外機

・相当配管長高低差による補正值

└補正係数

└冷房

└暖房

・屋外温度補正係数

└冷房

└暖房

室内機

・室内温度補正係数

└冷房

└暖房

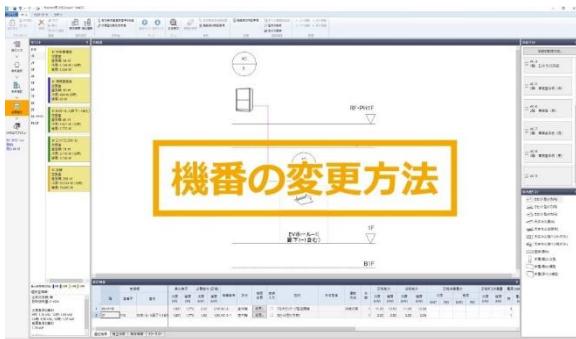
STEP
3

直接入力



数値の調整が必要な場合は、各項目にある直接入力にチェックを入れると、編集が可能になります。

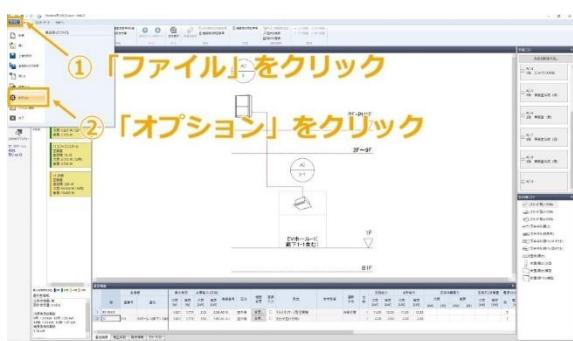
デフォルト機器番号の変更



デフォルトで設定されている機番を変更する事が出来ます。

STEP
1

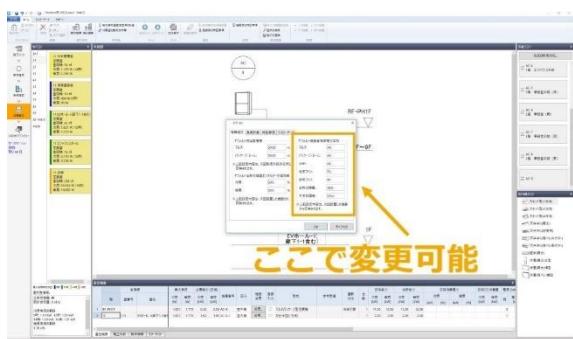
「ファイル」の「オプション」をクリック



左上にある「ファイル」タブをクリックして、「オプション」を選択します。

STEP
2

デフォルトの機器番号の変更

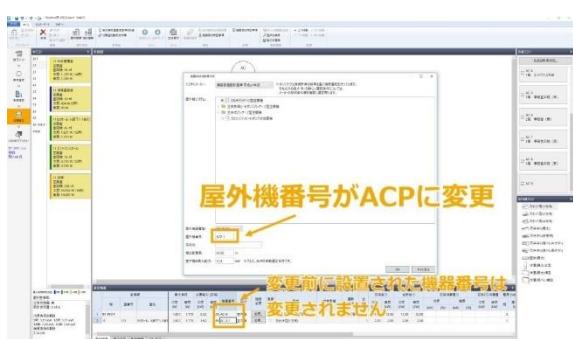


既に設置してある機器の機番は変更できません。
設定内容は次回設置した機器から反映されます。

※例：空調選定でマルチの機番を AC から ACP に変更する場合

STEP
3

機番の変更



新規で作成した系統の屋外機番号が「ACP」に変更されています。

このほか、換気なども同じ流れで変更が可能です。

機器能力の変更方法について

選定機器						
	ゾーン情報		機器番号	区分	機器変更	選定対象
	系統・ゾーン名	階	室情報			品名
1	B1F 電気室 RF			AC-B1 室外機	変更...	能力 ピッル用リモコン グラン...
2	電気室	B1F	B101 電気	AC-B1-1 室内機	変更...	最小台数 ピッル用リモコン 天井か...
3						室内機 合計

ソフトで自動選定した、機器の仕様・台数の変更の操作について説明します。

STEP
1

変更ボタンをクリック



STEP
2

系統図の機器をダブルクリック



STEP.1 の機器選定画面の変更ボタンか、

系統図の機器をダブルクリックすると、STEP.3 に進みます。

STEP
3

変更したい機器を選択する



変更したい機器のラインナップが一覧で表示されます。

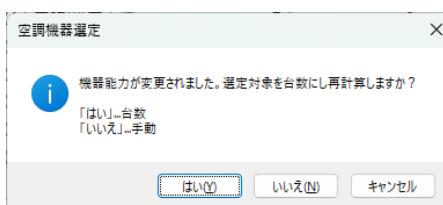
選択し「OK」クリック

または

選択した機器をダブルクリックします

STEP
4

選定対象を選択するメッセージが表示されます

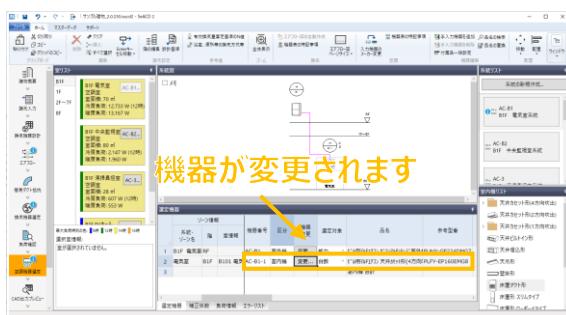


選定対象が「最小台数」または「能力」の場合、
変更する機器の能力から台数を自動選定するのか、台
数を手入力するのかを確認するメッセージが表示され
ます。

選定対象を選びます
「はい」…台数を自動選定したい
「いいえ」…台数を手入力したい

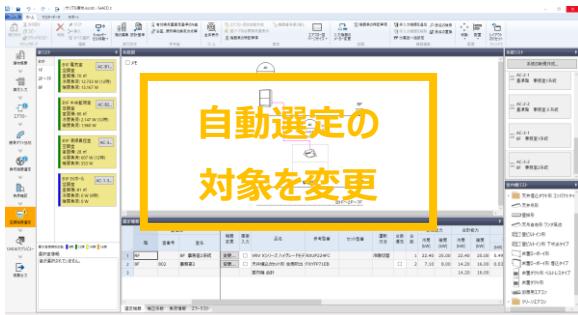
STEP
5

機器が変更されます



「いいえ」を選択して選定対象を「手動」にした場合、
台数は手入力で修正が必要になります。

自動選定の対象を変更



選定後の機器で自動選定を行う対象を変更することができます。

STEP
1

「選定対象」列にて選定対象を変更できます

選定機器				ゾーン情報		機器番号	区分	機器変更	選定対象	品名
1	B1F	電気室	RF	AC-B1	室外機	変更...	能力	手動	最小台数	ビル用マルチ
2	電気室	B1F	B101 電気	AC-B1-1	室内機	変更...	能力	手動	最小台数	ビル用マルチ
3								合計	室内機	合計

手動：自動選定は行いません。自由に変更可能です。

最小台数：「台数」と「能力」を自動選定します

能力：「能力」を自動選定します

台数：「台数」を自動選定します

STEP
2

品名、参考型番、セット型番、台数、能力等を手入力する

機器番号	区分	機器変更	選定対象	品名	参考型番	セット型番	運転方法	台数	定格能力	合計能力
AC-B1	室外機	変更...	手動	ビル用マルチエアコン	PUHY-GP224DMG7		冷暖切替	8	25.90	28.70
AC-B1-1	室内機	変更...	能力	ビル用マルチエアコン 天井形	PLFY-EP90EMG8		冷暖切替	2	9.00	10.00

「手動」を選択すると、入力できるようになります

品名、参考型番、セット型番、台数、能力等を手入力するには、選定対象にて「手動」を選択します。

全ての機器で選択できます。

STEP
3

台数と能力を自動で選定する

機器番号	区分	機器変更	選定対象	品名	参考型番	セット型番	運転方法	台数	定格能力	合計能力
AC-B1	室外機	変更...	手動	ビル用マルチエアコン	PUHY-GP224DMG7		冷暖切替	1	22.40	25.00
AC-B1-1	室内機	変更...	最小台数	ビル用マルチエアコン 天井形	PLFY-EP90EMG8		冷暖切替	2	9.00	10.00

「最小台数」を選択すると、台数と能力が自動選定されます

選定対象にて「最小台数」を選択すると、

最小の台数で必要能力を満たす機器を自動で選定します。

マルチ型空調機の室内機のみ選択できます。

STEP
4

能力を自動で選定する

機器番号	区分	機器変更	選定対象	品名	参考型番	セット型番	運転方法	台数	定格能力	合計能力
AC-B1	室外機	変更...	能力	ビル用マルチエアコン	PUHY-GP224DMG7		冷暖切替	1	22.40	25.00
AC-B1-1	室内機	変更...	能力	ビル用マルチエアコン 天井形	PLFY-EP90EMG8		冷暖切替	2	9.00	10.00

「能力」を選択すると、能力が自動選定されます

マルチ型の室内機は台数を手入力指定します

選定対象にて「能力」を選択すると、

指定した台数で、必要能力を満たす機器を自動で選定します。

台数は以下の通りです。

・マルチ型空調機の室外機：1台固定

・マルチ型空調機の室内機：台数を手入力

・パッケージ型空調機：1台固定

全ての機器で選択できます。

STEP

5

台数を自動で選定する

機器番号	区分	機器 変更	選定対象	品名	参考型番	セット型番	選択 方法	台 数	実機能力		合計能力	
									冷房 [kW]	暖房 [kW]	冷房 [kW]	暖房 [kW]
AC-B1	室外機	変更...	能力	1K用床用アフターカラーフPUHY-GF224DNG7			冷暖切替	1	22.40	25.00	22.40	25.00
AC-B1-1	室内機	変更...	台数	1K用床用アフターカラーフ天井カPLFY-EP28EMG8				7	2.80	3.20	19.60	22.40

「台数」を選択して、機器能力を変更すると台数が自動選定されます

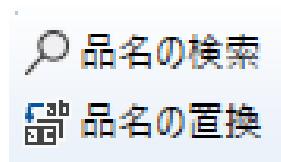
選定対象にて「台数」を選択すると、

指定した機器の能力で、必要能力を満たすように台数を自動で選定します。

機器の能力は[機器能力の変更方法について](#)を参照してください。

マルチ型空調機の室内機のみ選択できます。

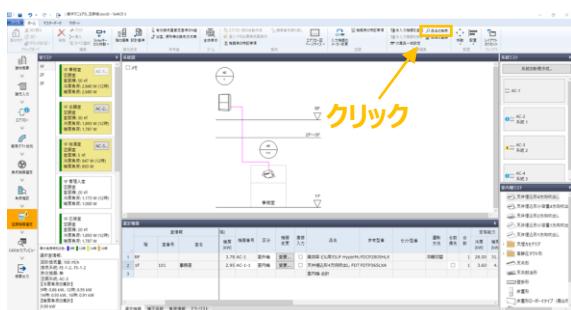
品名の検索・置換



空調選定の画面で使用できる、品名の検索と置換機能の説明

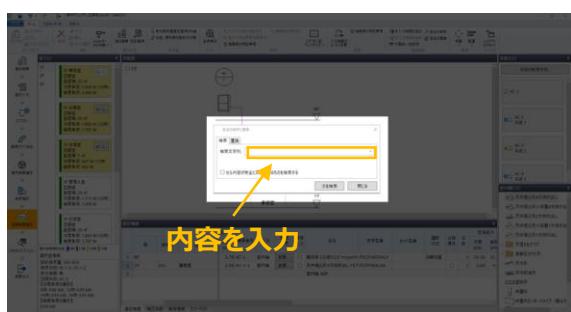
品名の検索方法

1



検索内容を入力

2

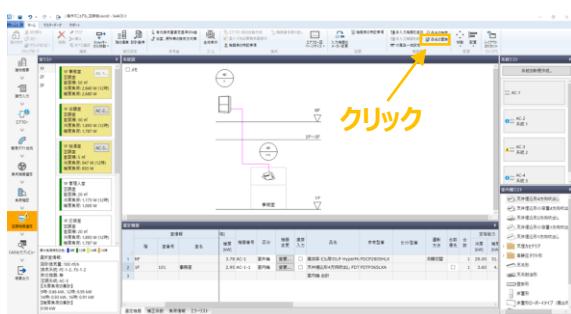


「次を検索」ボタンをクリックすると、該当する情報が検索できます。

STEP

3

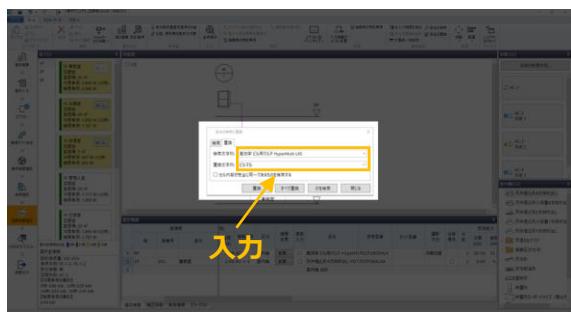
品名の置換方法



STEP

4

内容を入力

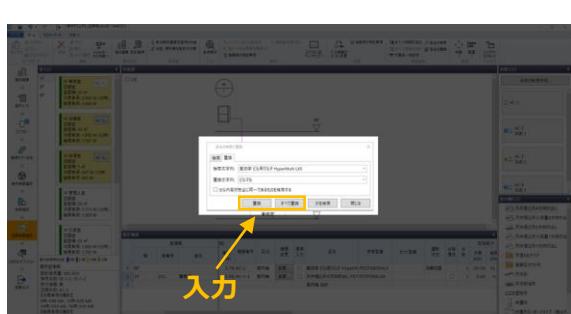


検索文字列と置換文字列を入力します。

STEP

5

置換されます



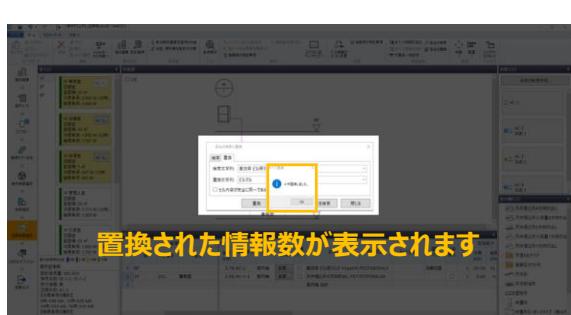
置換→選択している内容が置換されます。

すべて置換→入力されている内容がすべて置換されます。

STEP

6

置換されます



「すべて置換」をクリックすると、置換された情報数が表示されます

置換された情報数が表示されます

メーカー・機器種類の一括変更

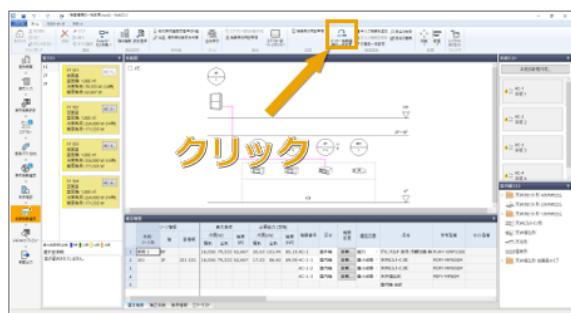


一度選定した機器から、他の機器への切り替えが簡単に行えます。

メーカー・機器種類・カタログ年月・シリーズを選択することで切り替えが可能です。

STEP 1

メーカー・機器種類の一括変更をクリック



STEP 2

編集画面が表示されます



列タイトルが青背景の列が現在の機器です。

列タイトルが黄色背景の列が変更後の機器です。

STEP
3

メーカーの変更



メーカーを変更すると、同じ機器種類の最新メーカーカテゴリより現在の機器に近いシリーズが初期選択されます。

STEP

4

機器種類の変更



STEP

5

カタログ年月の変更



STEP

6

シリーズの変更



STEP

7

OK ボタンをクリックします



選択したシリーズの中から機器が選定されます。

〈換気機器〉

現在の機器と同等能力または 1 ランク上の機器が選定されます。

〈空調機器〉

室外機および室内機にて、現在の機器と同等能力の機器が選定されます。

見つからなかった場合は空調機器選定と同じ条件で自動選定されます。

メッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。

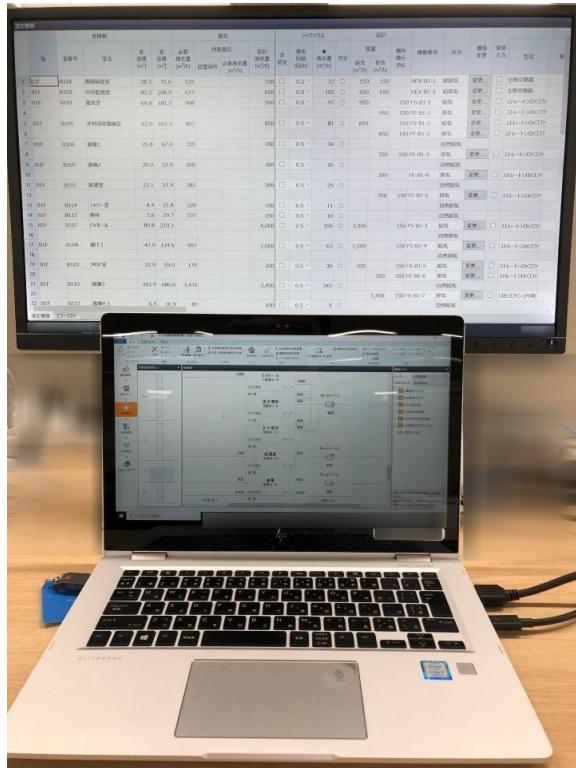
STEP

8

選定機器が変更されます



画面の切り離し

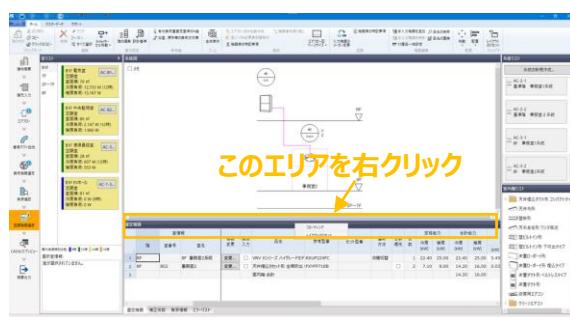


空調選定画面の「選定機器」の表示は切り離しが可能です。

デュアルディスプレイで作業を行っている方は、系統図と選定機器の表を別画面で確認する事が出来ます。

STEP
1

選定機器画面を選択



STEP
2

フローティングを選択



STEP

3

画面の大きさを調整



手動で画面のサイズを調整します。

STEP

4

元に戻す



フローティング画面の右上の×ボタンをクリックするか、
または「レイアウトのリセット」ボタンをクリックすると元の表示
に戻ります。

ゾーンの結合・ゾーン結合の解除

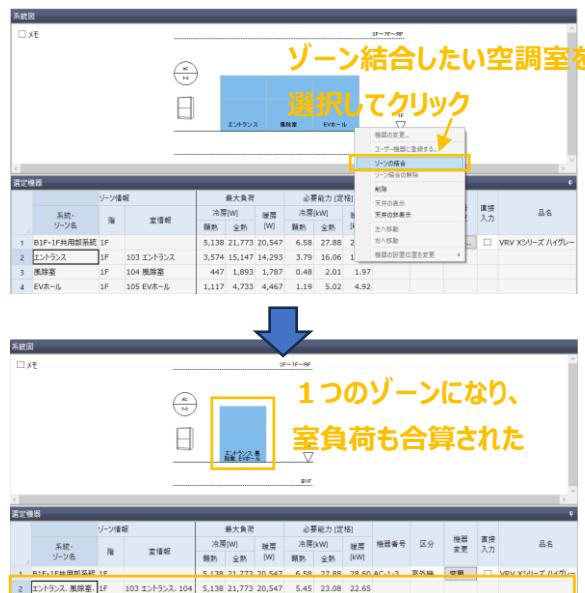


複数の室を1つのゾーンとして結合し、空調機器を選定することができます。

ゾーンの結合方法およびゾーン結合の解除方法の説明をします。

STEP
1

ゾーンの結合



系統図にて1つのゾーンにまとめたい空調室を選択します。

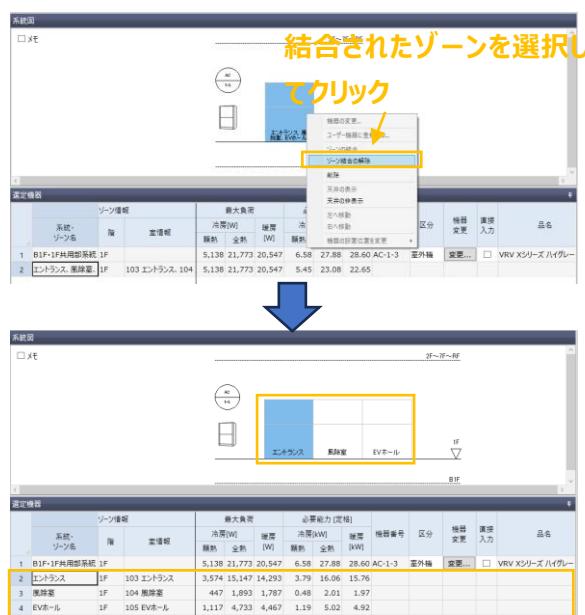
右クリックメニューより「ゾーンの結合」をクリックすると、1つのゾーンになります。

ゾーン結合した室の負荷は合算されます。

別階の空調室はゾーン結合出来ません。

STEP
2

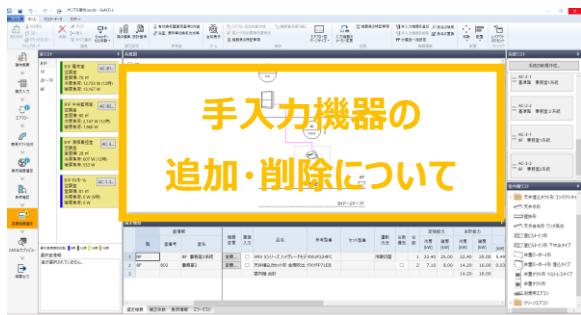
ゾーン結合の解除



結合されたゾーンを選択します。

右クリックメニューより「ゾーン結合の解除」をクリックすると、ゾーン結合が解除されます。

空調選定 手入力機器の追加・削除について



空調機器の「手入力の機器の追加」「手入力機器の削除」についてご説明いたします。

STEP
1

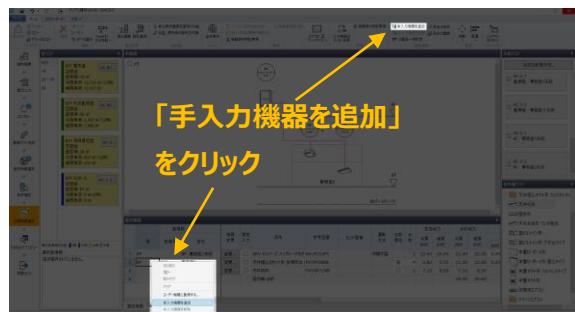
「手入力機器を追加」対象行の選択



選定機器一覧にて、手入力機器を追加したい行をクリックします。

STEP
2

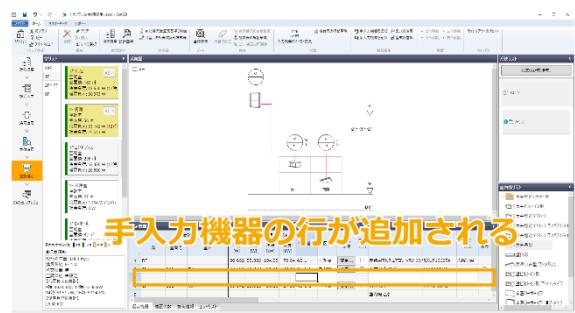
「手入力機器を追加」追加方法



リボンメニューの「手入力機器を追加」
または、
選定機器一覧の追加したい行で右クリックし、
表示されるメニューにて「手入力機器を追加」
をクリックします。

STEP
3

「手入力機器を追加」情報の入力

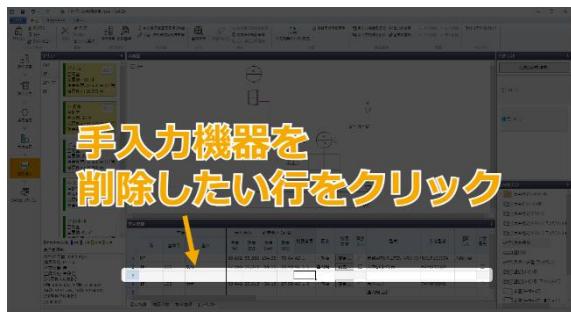


入力行が追加され、セルが白色になり直接入力が可能になります。

STEP

4

「手入力機器を削除」対象行の選択



選定機器一覧にて、手入力機器を削除したい行をクリックします。

STEP

5

「手入力機器を削除」削除方法



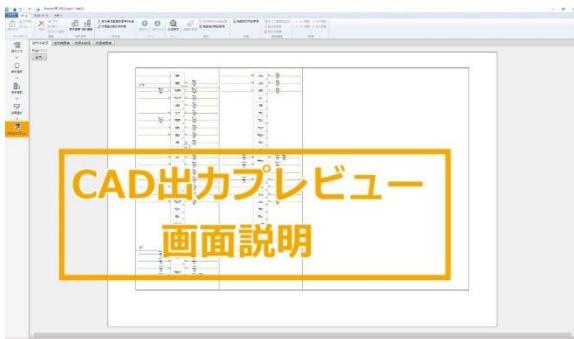
リボンメニューの「手入力機器を削除」

または、

選定機器一覧の削除したい行で右クリックし、表示されるメニューにて「手入力機器を削除」をクリックすると、手入力機器が削除されます。

CAD 出力プレビュー

CAD 出力プレビューの画面説明

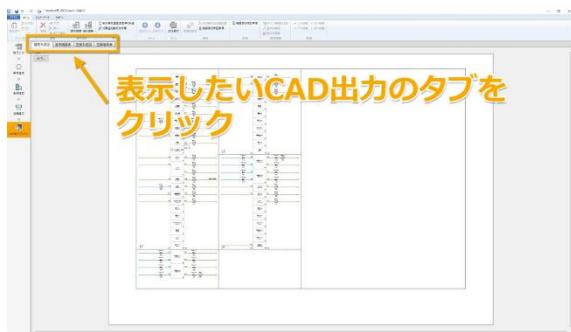


出力される CAD データのプレビュー画面です。

データの出力前に確認することが出来ます。

STEP
1

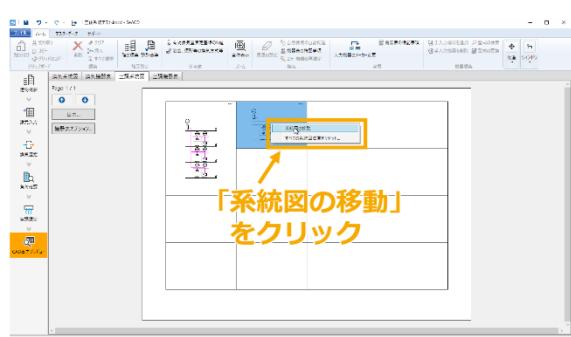
確認する



タブで切替えることで、各画面が表示され内容を確認できます。

STEP
2

空調系統図の移動

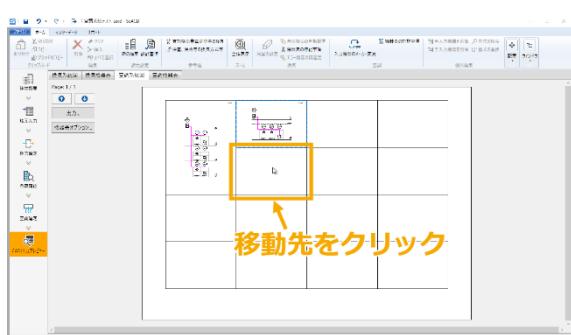


空調系統の印刷位置を変更することができます。

移動したい系統図を右クリックし、ショートカットメニューの「系統図の移動」をクリックします。

STEP
3

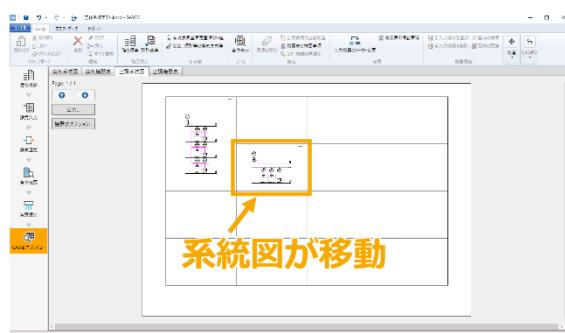
空調系統図の移動先を選択



系統の移動先をクリックします。

STEP
4

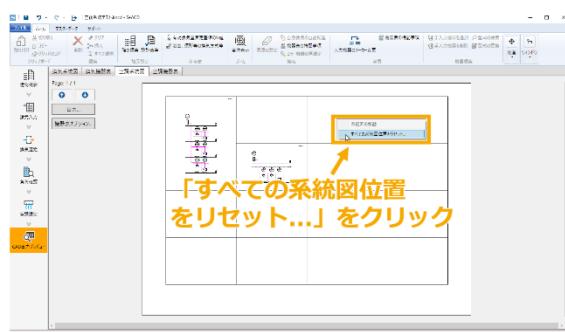
空調系統図の移動完了



クリックした位置に系統図が移動します。

STEP
5

空調系統図の位置リセット



空調系統図にて右クリックし、ショートカットメニューの「すべての系統図位置をリセット...」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックすると、系統図の位置が自動で再配置されます。

機器表のカスタマイズについて



機器表では、以下 2 つのカスタマイズが可能です。

①項目の並び替え

②表示・非表示の選択

編集したフォーマットは保存され、別物件で使用可能になります。

STEP
1

「機器表オプション」ボタンをクリックします



STEP

2

編集画面が表示されます



STEP

3

「新規」をクリック

機器表オプション

出力セッタリスト:

適用	出力セット名
<input checked="" type="checkbox"/>	デフォルト

新規
コピー
削除
▲
▼

クリック

STEP

4

出力セットが作成されます

機器表オプション

出力セッタリスト:

適用	出力セット名
<input checked="" type="checkbox"/>	デフォルト
<input type="checkbox"/>	出力セット 1

新規
コピー
削除
▲
▼

↑
名称は変更出来ます

編集し保存した、機器表のフォーマットが表示されるエリア
です。

最大で 9 タイプ保存出来ます。

STEP

5

表示・非表示の選択



空調・換気の出力列のチェックマークを編集します。

非表示にする場合は、該当する項目のチェックマークを外すと非表示になります。

クリック

STEP

6

並び替え



上下の矢印どちらかをクリックします。

STEP

7

項目が移動



STEP

8

全熱交換器・換気設備の表示の変更



■全熱交換器・顯熱交換器の出力する機器表

デフォルトは、空調機器表に表示される設定です。

換気機器表にチェックを入れると、換気機器表に表示されます。

■換気機器表の機器出力順

デフォルトは、室毎に給気、排気機器が表示されます。

給気、排気、給排気順に出力にチェックを入れると、給気は給気

排気は排気とまとめて表示されるようになります。

STEP

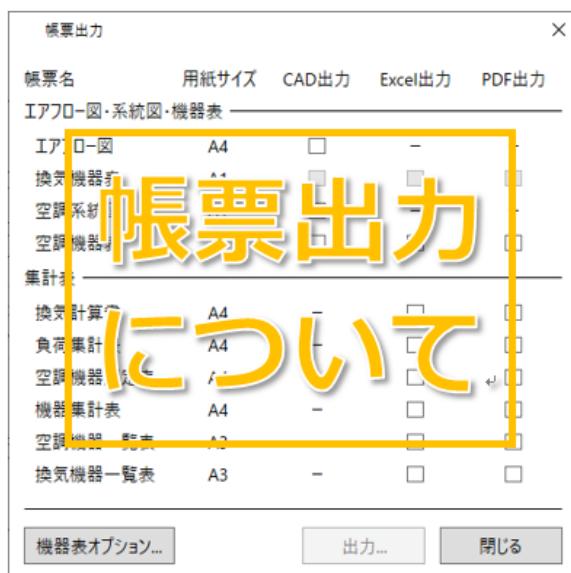
9

適用する



使用したい出力セットの適用にチェックし、「OK」ボタンをクリックすると編集した出力セットで機器表が反映されます。

帳票出力



帳票出力の手順についてご説明いたします。

STEP
1

帳票出力



クリック

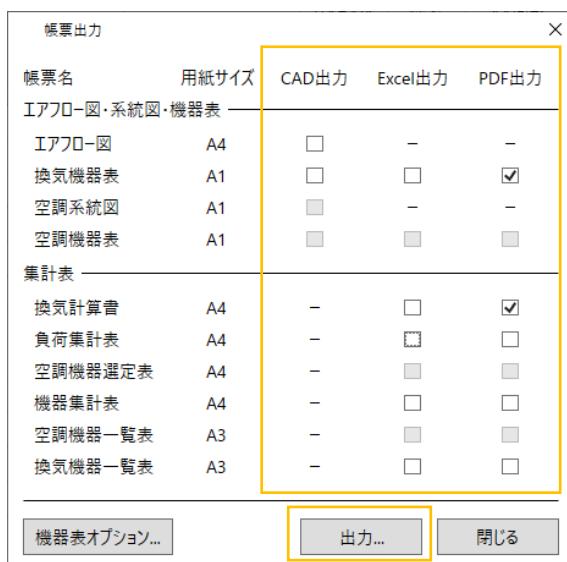
ナビゲーションバーの帳票出力アイコン、または
クリックアクセスツールバーの帳票出力アイコン、または
ファイルメニューの「帳票出力」をクリックします。



クリック

STEP
2

出力帳票の選択



帳票出力の画面が表示されるので、出力したい帳票にチ
エックを付け、
「出力...」ボタンをクリックします。

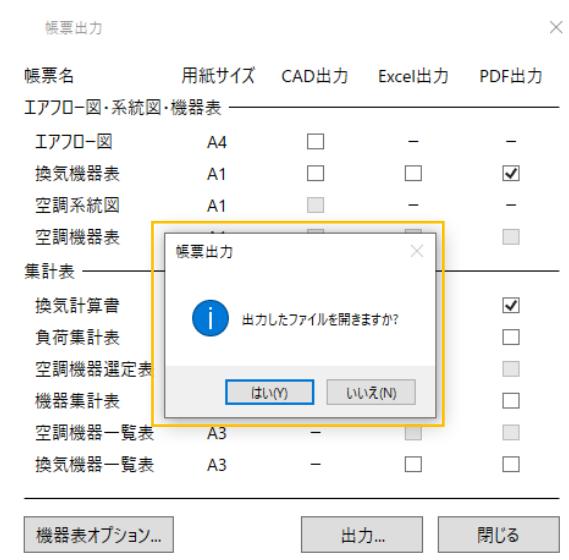
STEP
3

保存場所の指定



帳票毎に、保存場所を指定する画面が表示されますの
で、保存場所及びファイル名を指定し、
「保存」ボタンをクリックすると出力されます。

帳票出力完了



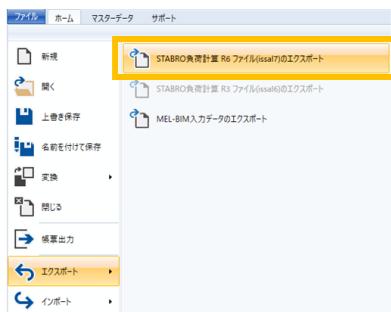
すべての帳票出力後、「出力したファイルを開きますか？」のメッセージが表示されるので、「はい」をクリックすると、出力した帳票が画面に表示されます。

エクスポート

STABRO 負荷計算ファイルのエクスポート

STEP
1

STABRO 負荷計算ファイルにエクスポート

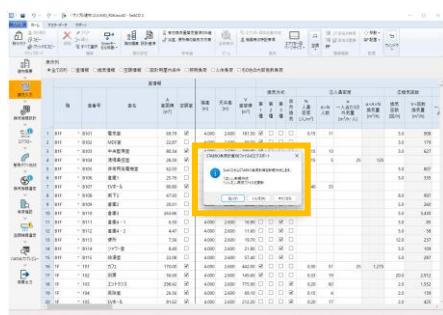


事前準備：諸元入力、エアフロー、換気機器選定の入力を行ってください。

左上にある「ファイル」タブをクリックして、「エクスポート」をポイントします。SeACD の建築設備設計基準に応じ、STABRO のエクスポート項目をクリックします。

STEP
2

エクスポート確認画面



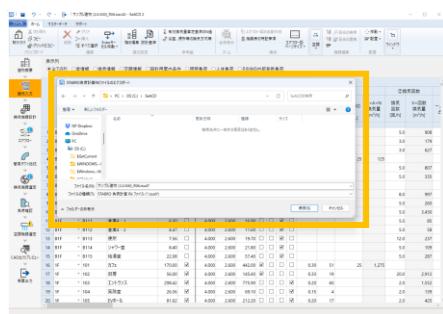
エクスポートの確認画面が表示されます。

新規に STABRO 負荷計算ファイルをエクスポートする場合「はい」をクリックします。

既存の STABRO 負荷計算ファイルを更新する場合「いいえ」ボタンをクリックします。

STEP
3

新規に STABRO 負荷計算ファイルをエクスポート データの保存場所を指定

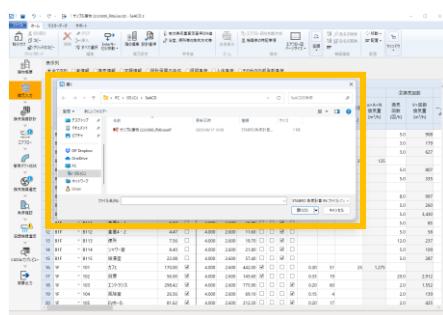


エクスポートの確認画面で「はい」をクリックした場合、保存場所を指定する画面が表示されます。

保存場所及びファイル名を指定し、「保存」ボタンのクリックで、STABRO 負荷計算ファイルを保存します。

STEP
4

既存の STABRO 負荷計算ファイルを更新 更新するファイルの選択



エクスポートの確認画面で「いいえ」ボタンをクリックした場合、

既存の STABRO 負荷計算ファイルを選択する画面が表示されます。

更新するファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

STEP
5

既存の STABRO 負荷計算ファイルを更新 SeACD 情報のエクスポート画面



SeACD からエクスポートする室の一覧画面が表示されます。

SeACD で新規追加された室の場合、「STABRO 負荷計算ファイル」の階及び、室番号の列に「-」、室名の列に「(新規作成)」が赤文字で表示されます。

STEP
6

既存の STABRO 負荷計算ファイルを更新 更新対象室の選択



画面上部にて、同一室とする条件を選択する事ができます。

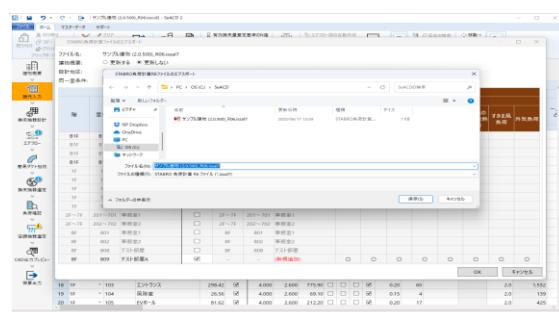
更新対象の室にチェックを付けます。

※新規作成の室または、室情報に変更がある室の場合のみ、チェックを付けることができます。

更新対象の室を選択し終えたら「OK」ボタンをクリックします。

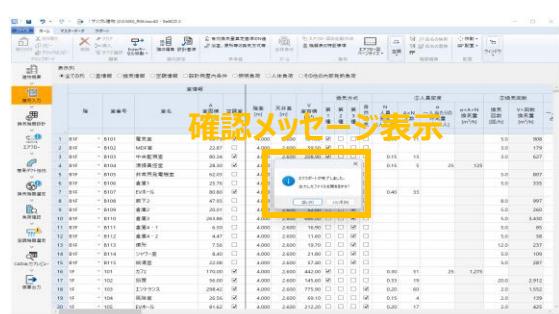
STEP
7

既存の STABRO 負荷計算ファイルを更新 データの保存場所を指定



保存場所及びファイル名を指定し、「保存」ボタンのクリックで、STABRO 負荷計算ファイルを保存します。

STEP
8



エクスポート完了時、メッセージが表示されます。

STABRO 負荷計算のファイルを開く場合は「はい」をクリックしてください。

STEP
9

STABRO 負荷計算が開きます



※画面は令和 6 年版の STABRO 負荷計算です。

STABRO 負荷計算が開きます。

SeACD の建物概要で入力した内容が反映されます。

STEP
10

室内条件の確認

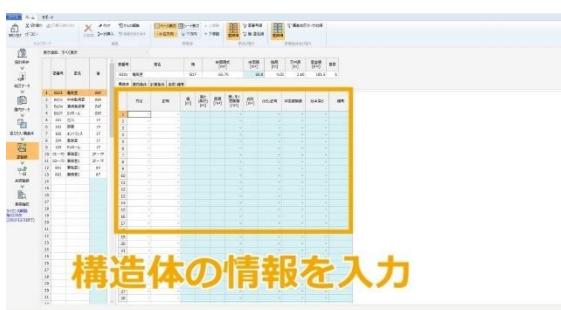


SeACD の諸元入力で空調室に設定した部屋が、
STABRO 負荷計算の室リストに反映されます。

各部屋の室内条件の内容も、SeACD で入力した諸元
入力の情報が反映されます。

STEP
11

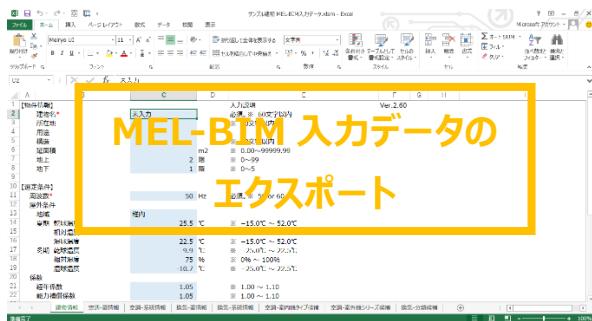
構造体の情報を入力



STABRO 負荷計算で主に行う作業は、各部屋の構造
体の情報の入力です。

MEL-BIM 入力データのエクスポート

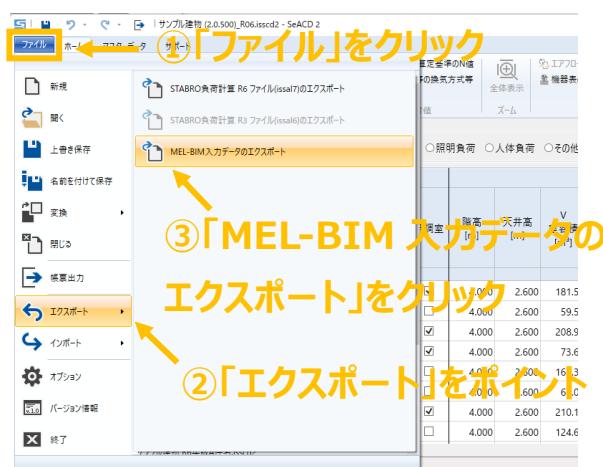
※Ver.2.0.40 以降の機能です。



SeACD で入力した情報を三菱電機様の MEL-BIM と連携するためのファイルの出力までの流れを説明します。

STEP
1

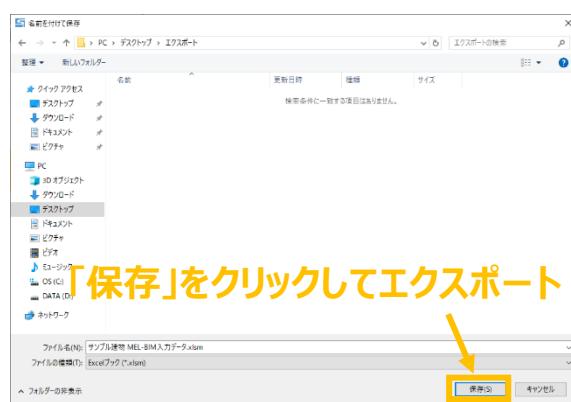
「ファイル」の「エクスポート」の「MEL-BIM 入力データのエクスポート」



左上にある「ファイル」タブをクリックして、「エクスポート」をポイントし、「MEL-BIM 入力データのエクスポート」をクリックします。

STEP
2

エクスポートファイルの保存先を指定



エクスポートファイルの保存先を指定し、「保存」をクリックすると、エクスポートが行われます。

インポート

STABRO 負荷計算ファイルのインポート

※Ver.2.0.50 以降の機能です。

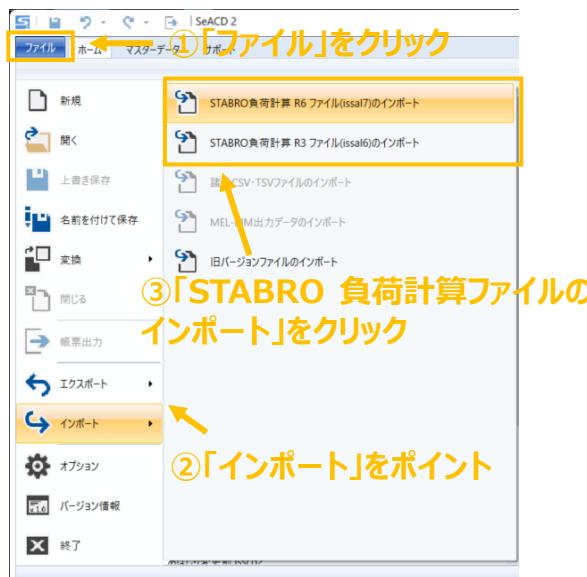


STABRO 負荷計算ソフトで保存したファイルを、SeACD にインポートします。

インポートされる主な情報は、建物概要、諸元情報、負荷計算結果です。

STEP
1

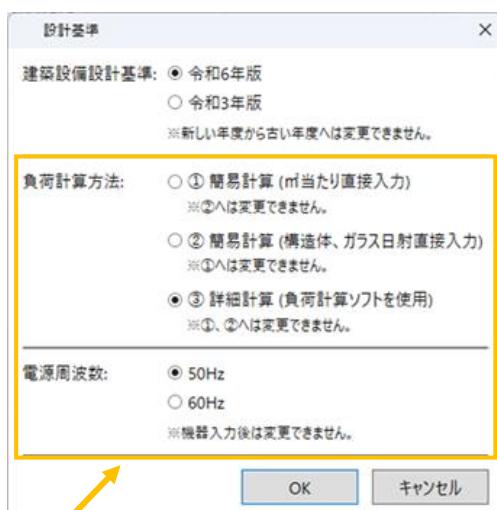
「ファイル」の「インポート」の「STABRO 負荷計算ファイルのインポート」



左上にある「ファイル」タブをクリックして、「インポート」をポイントし、「STABRO 負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインポート」または「STABRO 負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート」をクリックします。

STEP
2

設計基準を設定（※新規作成時のみ）



負荷計算方法と電源周波数を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

※STABRO 負荷計算ファイルから新規で本ソフトの案件を作成する場合のみ表示されます。
既存の案件ファイルに上書きする場合、STEP2 はスキップされます。

STEP
3

インポートする STABRO 負荷計算ファイルを指定



STABRO 負荷計算ソフトで保存したファイルを選択し、「開く」をクリックします。

STEP
4

STABRO 負荷計算ファイルのインポート画面



STABRO 負荷計算からインポートする室の一覧画面が表示されます。

STABRO 負荷計算で新規追加された室の場合、「SeACD」の階及び、室番号の列に「-」、室名の列に「(新規作成)」が表示されます。

SeACD と、STABRO 負荷計算ファイルとで、室の情報に差分がある場合、更新状況の列に「○」が表示されます。

STEP

5

STABRO 負荷計算ファイルのインポート画面 更新対象を選択



建物概要および設計屋外条件を更新するかどうかを選択します。

STEP

6

STABRO 負荷計算ファイルのインポート画面 更新対象の室を選択



画面上部にて、同一室とする条件を選択する事ができます。

更新対象の室にチェックを付けます。

※新規作成の室または、室情報に変更がある室の場合のみ、チェックを付けることができます。

更新対象室を選択して、「OK」ボタンをクリックすると、インポートが行われます。

「OK」をクリックしてインポート

MEL-BIM 出力データのインポート

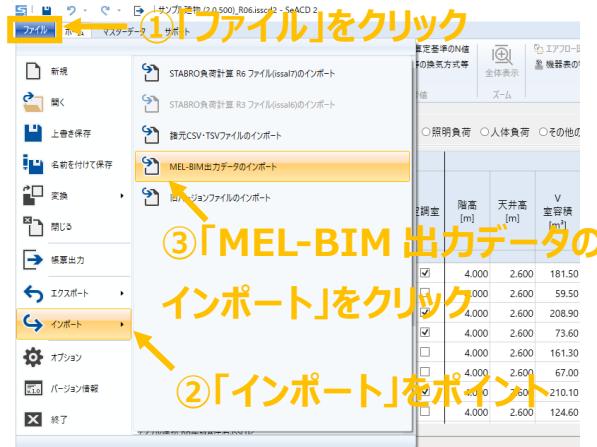
※Ver.2.0.40 以降の機能です。



三菱電機様の MEL-BIM で入力した情報を SeACD と連携するためのファイルの読み込みまでの流れを説明します。

「ファイル」の「インポート」の「MEL-BIM 入力データのインポート」

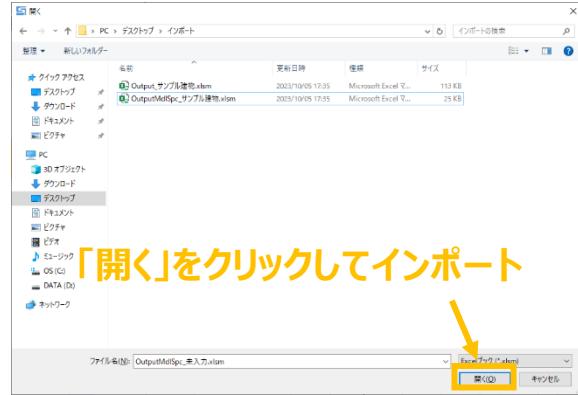
1



左上の「ファイル」タブ、「インポート」、「MEL-BIM 出力データのインポート」の順にクリックします。

インポートするエクセルファイルを指定

2



MEL-BIM で保存したファイルを選択し、「開く」をクリックすると、インポートが行われます。

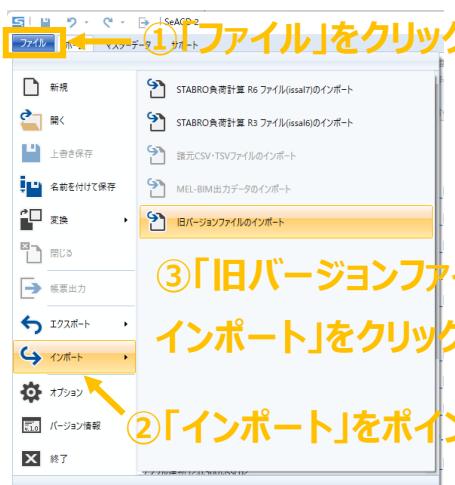
旧バージョンファイルのインポート



旧 SeACD で保存したファイルを、SeACD 2 に変換しインポートします。

STEP
1

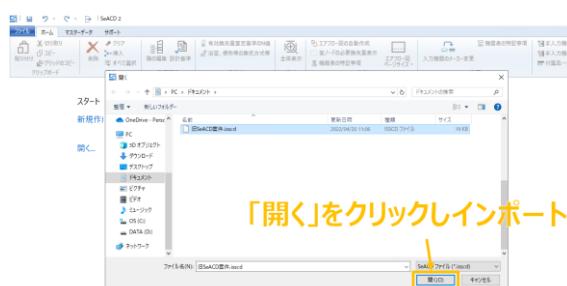
「ファイル」の「インポート」の「旧バージョンファイルのインポート」



左上にある「ファイル」タブをクリックして、「インポート」をポイントし、「旧バージョンファイルのインポート」をクリックします。

STEP
2

インポートする旧バージョンファイルを指定



旧 SeACD で保存したファイルを選択し、「開く」をクリックすると、インポートを行います。

その他

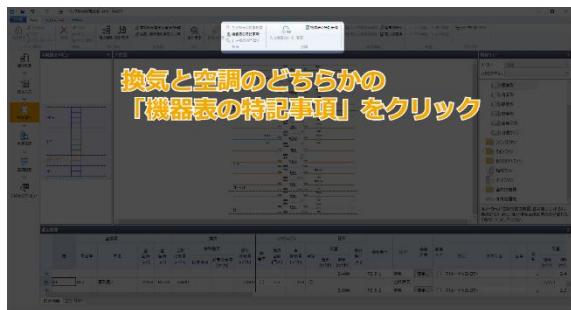
機器表での特記事項入力



出力前に入力をしておくと、空調・換気機器表に特記事項を表示させる事が出来ます。

STEP
1

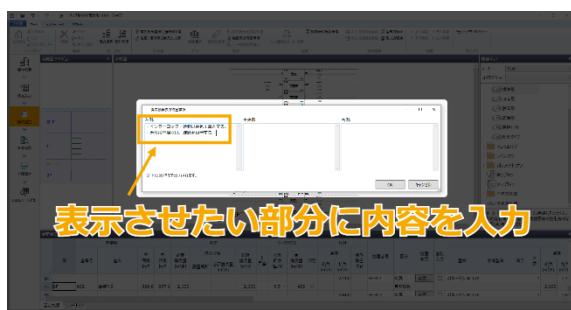
特記事項をクリック



換気と空調どちらかの「機器表の特記事項」をクリックします。

STEP
2

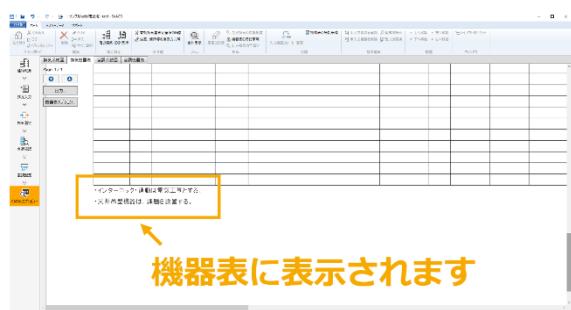
内容の入力



左側・中央部・右側のうち、表示させたい部分に内容を入力します。

STEP
3

機器表への表示



入力した内容は、CAD 出力プレビューで確認ができます。

サポート

サポートについて

シームレス個別空調設計ソフトウェア

SeACD
Seamless Air Conditioning Design Tool

サポートについて

サポート機能について説明します。

マニュアルやオンラインサポートなどが確認出来ます。

STEP
1

操作マニュアル



部	変番号	室名	A 室面積 [m ²]	空調面 [m ²]	露面 [m ²]	V 面積 [m ²]	換気方式			①人員密度 人數 [人/m ²]
							第 1 種	第 2 種	第 3 種	
1	B1F	B101 電気室	69.79	✓	4.00	2.60	181.5	✓	□	0.15
2	B1F	B102 M2室	22.67	□	4.00	2.60	59.5	✓	□	0.15
3	B1F	中央配電室	80.34	✓	4.00	2.60	208.9	✓	□	0.15
4	B1F	測定用室	28.30	✓	4.00	2.60	73.6	✓	□	0.15
5	B1F	床用充電電池	62.03	□	4.00	2.60	161.3	✓	□	0.15
6	B1F	産業1	25.76	□	4.00	2.60	67.0	□	✓	0.20
7	B1F	EVD-ル	80.80	✓	4.00	2.60	210.1	□	✓	0.20
8	B1F	廊下2	47.93	□	4.00	2.60	124.6	✓	□	0.15

サポートタブの「操作マニュアル」をクリックします。

STEP
2

マニュアルの表示



PDFデータのマニュアルが確認できます。

STEP
3

ユーザーガイド



部	変番号	室名	A 室面積 [m ²]	空調面 [m ²]	露面 [m ²]	V 面積 [m ²]	換気方式			①人員密度 人數 [人/m ²]
							第 1 種	第 2 種	第 3 種	
1	B1F	B101 電気室	69.79	✓	4.00	2.60	181.5	✓	□	0.15
2	B1F	B102 M2室	22.67	□	4.00	2.60	59.5	✓	□	0.15
3	B1F	中央配電室	80.34	✓	4.00	2.60	208.9	✓	□	0.15
4	B1F	測定用室	28.30	✓	4.00	2.60	73.6	✓	□	0.15
5	B1F	床用充電電池	62.03	□	4.00	2.60	161.3	✓	□	0.15
6	B1F	産業1	25.76	□	4.00	2.60	67.0	□	✓	0.20
7	B1F	EVD-ル	80.80	✓	4.00	2.60	210.1	□	✓	0.20
8	B1F	廊下2	47.93	□	4.00	2.60	124.6	✓	□	0.15

サポートタブの「ユーザーガイド」をクリックします。

STEP

4

ユーザーガイドを表示



画像メインのユーザーガイドが確認出来ます。

STEP

5

オンラインサポート



「オンラインサポート」をクリックします。

STEP

6

オンラインサポート お客様メニュー



新規のお問い合わせや、ユーザーマニュアル、よくある質問、過去の問い合わせ一覧が確認できます。

STEP

7

オンラインサポート お客様メニュー



お問い合わせのカテゴリーを選択すると、「よくある質問」の確認ができます。

また、新規のお問い合わせがクリックできるようになります。

STEP
8

オンラインサポート お客様メニュー

必須事項をご入力いただき、「お問い合わせを開始」をクリックしてください。

STEP
9

最新版のチェック

「最新版のチェック」をクリックしてください。

STEP
10

最新版のチェック

更新プログラムの有無を確認できます。

STEP
11

イズミコンサルティングホームページ

「イズミコンサルティングホームページ」をクリックします。

STEP
12

ホームページの表示



イズミコンサルティングのホームページにアクセスできます。

STEP
13

回復用案件フォルダを開く



「回復用案件フォルダを開く」をクリックすると、異常終了時に自動保存された案件のフォルダを開きます。

ファイル名は、保存時の日付と時刻で作成されており、ファイルを利用するには、該当ファイルを適切な位置にコピーし、ファイル名を変更してから開いてください。

※異常が発生した際に保存するため、ファイルが破損している可能性もあります。